

# 健 康 福 祉 課

## 【総括】

鳥羽市では、今後、人口減少・少子高齢化が進むと予想されており、2035年には高齢化率が50%を超え、2045年には人口が1万人近くになるとの推計が出ています。

平成30年度は現状の課題に対応した取り組みをすると同時に、先を見据えた取り組みを行いました。地域共生社会の実現に向けた取り組みについては、庁内全課向け研修や、福祉関連事業者向け研修、市民向け講演会を行うなど、意識の共有や連携の強化を図りました。また複合的課題を抱えたケースに対応する仕組みの構築を進めました。今後は地域での仕組み構築など長期的展開が必要となります。

高齢者分野においては、高齢者が生活に困ることなく、いきいきと安心して暮らしていけるよう、いきいきお出かけ券の配布や配食サービス等様々なサービスを実施し、生活のサポートを行いました。

認知症の高齢者や障がいのある人の意思決定や身上監護の支援として、成年後見制度の利用促進を図るため、市長申立制度審査会を開催し、3件の市長申立手続きを行いました。今後も認知症の高齢者や障がいのある人の権利を守るため、この取り組みを推進していきます。

子育て分野では、鳥羽の子どもたちが毎日を安心して過ごし、心豊かに成長していくことを願い、保育所の施設整備や貧困対策への取り組みを進めました。また、妊娠期から子育て期を切れ目なくサポートしていくための相談体制の充実に務めました。

健康分野では、神島診療所、菅島診療所に超音波画像診断装置を、長岡診療所には心電図検査装置を買い替えるなど診療所医療設備の充実に努めました。

## 【新たに実施した事業】

地域共生社会推進事業として「多機関の連携により包括的支援体制の構築」を行い、庁内の支援体制の構築を図りました。

さらに、鳥羽の子どもたちが健やかに成長することができる社会の実現を目指し、令和2年度から計画期間とする「第2期鳥羽市子ども・子育て支援事業計画」の策定に着手しました。策定の初年度である平成30年度はアンケート調査を実施し、子育て中の世帯を取り巻く現状と課題について整理し、求められているニーズの把握を行いました。

また、耐震基準を満たさない神島保育所について、安心・安全な保育環境を提供するため、隣接する既存施設（旧職員住宅）をリノベーションして保育所として整備しました。

## 【予算執行を伴わない事業】

子どもの将来がその生まれ育った環境により左右されることや、貧困が世代を超えて連鎖することがないように、取り組みの方向性を示した「鳥羽市子どもの貧困対策計画」を策定しました。

また、自殺対策の目標、施策などを示した「いのち支える鳥羽市自殺対策計画」を策定しました。食育の推進と家庭での調理メニューの参考となるよう「給食レシピ集」を作成し、地元の食材に親しみが持てるよう、海藻やさわらなど鳥羽の特産物を使用したメニューを取り上げ、保育所の保護者に配布しました。

昨年度始動した「とばびと活躍プロジェクト」は厚生労働省や福祉関係有識者から注目を浴び、熊本県で開催された「第5回生活困窮者自立支援全国研究交流大会」にて、約1,500人の方に発表することができました。

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 5 財産管理費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
312	311					311	

事業区分		3 基金積立金	311 千円	事項別明細書	P 56 ~
積立金 (基金)		予算現額	312 千円		
		決算額	311 千円		
		翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	2,626 千円		
寄付金3件を、福祉基金へ積立てました。					
○主な経費					
		一般積立金	福祉基金	311 千円	

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 14 地域振興費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
2,099	1,992						1,992

事業区分		4 集落支援員事業	1,992 千円	事項別明細書	P 68 ~
集落支援員事業 (神島地区)		予算現額	2,099 千円		
		決算額	1,992 千円		
		翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	1,992 千円		
神島地区の活性化を図るため、集落支援員を1名配置し、グループハウスを拠点に高齢者の見守りを行いました。					
○主な経費					
		報償費	神島集落支援員報償	1,992 千円	

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 18 諸費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	入金	その他	一般財源
26,079	26,078						26,078

過年度国庫支出金等返還金		予算現額	26,079 千円
		決算額	26,078 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	33,490 千円
平成29年度実績に基づき、国・県負担金及び補助金超過額等を返還しました。			
生活保護費負担金【国・負】		13,932	千円
生活困窮者自立相談支援事業費等負担金【国・負】		483	千円
障害者自立支援給付費負担金【国・負】		1,939	千円
障害児入所給付費等負担金【国・負】		361	千円
未熟児養育医療費国庫負担金【国・負】		148	千円
母子生活支援施設入所措置費負担金【国・負】		116	千円
児童手当支給費負担金【国・負】		67	千円
生活困窮者就労準備支援事業費等補助金【国・補】		556	千円
臨時福祉給付金給付事業費補助金・事務費補助金【国・補】		6,080	千円
母子家庭等対策総合支援事業費補助金【国・補】		1,011	千円
児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金【国・補】		160	千円
子ども・子育て支援交付金【国・補】		38	千円
障害者自立支援給付費等負担金【県・負】		820	千円
障害児通所給付費等負担金【県・負】		180	千円
養育医療給付事業負担金【県・負】		74	千円
母子生活支援施設入所措置費負担金【県・負】		58	千円
児童手当支給費負担金【県・負】		17	千円
地域子ども・子育て支援事業費補助金【県・補助】		38	千円

## (款) 3 民生費

## (項) 1 社会福祉費

## (目) 1 社会福祉総務費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
626,153	600,056	26,590	1,586	70,100	16,066	23,101	462,613

社会福祉一般職員給与費		予算現額	31,679 千円
		決算額	31,239 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	22,865 千円
高齢・障がい業務の人件費として、職員5名分を支出し、業務の推進に努めました。			
○主な経費			
職員人件費5名分		31,239	千円

<b>社会福祉一般職員給与費</b>			
○主な財源 国庫補助金 生活困窮者就労準備支援事業等補助金 4,709千円			
<b>社会福祉総務一般管理経費</b>		予算現額	8,110 千円
		決算額	7,488 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	5,684 千円
<p>嘱託職員2名を雇用し、社会福祉事務の円滑な推進を図りました。 また、ひだまりフェスタ開催にあたり設営業務を委託しました。 犯罪や非行に陥った者の社会復帰を手助けする保護司に対して、その活動の充実を図るため、鳥羽志摩保護区保護司会へ負担金を交付しました。</p>			
○主な経費			
	嘱託職員人件費2名分	5,972	千円
	委託料 ひだまりフェスタ会場設営業務委託	734	千円
	負担金 鳥羽志摩保護区保護司会負担金	54	千円
○主な財源			
	国庫委託金 特別児童扶養手当事務取扱交付金	46	千円
<b>戦没者遺族等援護事業</b>		予算現額	898 千円
		決算額	794 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	841 千円
<p>鳥羽市内全体の戦没者追悼式として執り行う遺族会に対して、その活動を支援するための補助金を交付しました。 鳥羽市戦没者追悼式へは、来賓、鳥羽市遺族会の方々など151人の参列があり、改めて平和の重みを確認することができました。</p>			
○主な経費			
	補助金 鳥羽市戦没者追悼式開催事業補助金	794	千円

事業区分	<b>2 社会福祉協議会運営補助事業</b>		20,509 千円 事項別明細書 P 86 ~	
	<b>社会福祉協議会補助事業（運営費）</b>		予算現額	14,424 千円
			決算額	12,878 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	13,824 千円	
<p>地域に根ざした福祉のまちづくりを推進するため、中心的な役割を担う社会福祉法人鳥羽市社会福祉協議会に対し、その法人運営を支援するため、人件費等への補助を行い社会福祉活動の充実に努めました。</p>				
○主な経費				
	補助金 鳥羽市社会福祉協議会事業補助金	12,878	千円	

社会福祉協議会補助事業（社会福祉推進）		予算現額	2,021 千円
		決算額	2,021 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	2,021 千円
<p>地域住民が住み慣れた地域で安心して暮らし、また、生きがいをもち続けるため、民生委員・児童委員協議会や老人クラブ連合会等の活動に対する補助を行い、住民同士の交流や地域活動促進を支援をしました。</p> <p>○主な経費 補助金 鳥羽市社会福祉協議会事業補助金 2,021 千円</p>			
社会福祉協議会補助事業（ボランティア活動支援）		予算現額	890 千円
		決算額	890 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	890 千円
<p>ボランティアセンターの運営助成、ボランティア講習会の開催に対する補助を行い、住民の協力体制による地域福祉活動の支援をしました。</p> <p>・ ボランティアスクール（定年対象者含む） 4回開催 延参加者数309人 ・ 小中学生を対象にしたボランティア教育のための体験プログラム 9回開催 延参加者数106人</p> <p>○主な経費 補助金 鳥羽市社会福祉協議会事業補助金 890 千円</p>			
社会福祉協議会補助事業（離島対策）		予算現額	5,510 千円
		決算額	4,489 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	4,288 千円
<p>外出支援協力員を配置し、離島に住む介護保険通所サービス利用者の通所介護・通所リハビリテーション等利用時の送迎支援、島内及び船内での介助を行い、安全を確保しました。</p> <p>離島対策事業延利用者数 2,108 人（前年度 2,310 人） 地域別利用者数 菅島町9人・答志町4人・桃取町4人・坂手町6人</p> <p>○主な経費 補助金 鳥羽市社会福祉協議会事業補助金 4,489 千円</p> <p>○主な財源 繰入金 ふるさと創生基金繰入金 4,489 千円</p>			
社会福祉協議会補助事業（権利擁護）		予算現額	231 千円
		決算額	231 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	186 千円

<b>社会福祉協議会補助事業（権利擁護）</b>			
認知症や精神・知的障がい者、日々の判断能力に不安のある方への金銭管理等を実施し、安心した日常生活を送ることができるように努めました。			
権利擁護事業	契約者数	32人	
	支援回数	654回	
○主な経費			
補助金	鳥羽市社会福祉協議会事業補助金	231	千円

事業区分	<b>3 保健福祉センター管理事業</b>		104,821 千円 事項別明細書 P 86 ~	
	<b>保健福祉センター管理運営事業</b>		予算現額	116,111 千円
			決算額	104,821 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	22,951 千円	
市民の健康保持・健康増進を通じて社会参加の場を提供し、保健福祉センターでの各種事業の円滑な運営を図るため、施設の環境確保と機能維持に向け、施設清掃及び機械設備の運転管理と保守点検整備を実施しました。				
また、エレベーターや浄化槽の修繕を行った他、ひだまりの空調設備において、経年劣化により圧縮機等の故障等が発生していたため、取替工事を行いました。				
○主な経費				
修繕料	自動ドア修繕工事	333	千円	
	ラウンジ照明器具修繕工事	259	千円	
	エレベーター修繕工事	441	千円	
	浄化槽中空糸膜修繕工事	410	千円	
役務費		1,954	千円	
委託料	電気保安業務	397	千円	
	浄化槽保守点検業務	894	千円	
	機械警備業務	308	千円	
	施設清掃業務委託	1,383	千円	
	設計測量等業務委託	1,987	千円	
	自動扉開閉装置保守点検業務	324	千円	
	エレベーター保守点検業務	622	千円	
	自動制御機器保守点検業務	302	千円	
工事費	空調設備取替工事	85,694	千円	
○主な財源				
地方債	保健福祉施設整備事業	70,100	千円	
諸収入	社会福祉協議会電気代他	23,081	千円	

地域福祉等推進特別支援事業（ふれあいいいききサロン）		予算現額	1,900 千円
		決算額	1,900 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	1,900 千円
<p>高齢者や子育て中の方とその子どもが、地域で気軽にふれあう機会を持てるよう各地区でサロンを開催し、地域住民の交流と理解を深めました。</p> <p>・高齢者サロン</p> <p>設置箇所 32箇所（前年度 32箇所） 開催回数 824回（前年度 861回） 延参加人数 9,140人（前年度 9,227人）</p> <p>・子育てサロン</p> <p>設置箇所 3箇所（前年度 3箇所） 開催回数 80回（前年度 97回） 延参加人数 975人（前年度1,072人）</p> <p>○主な経費</p> <p>委託料 ふれあいのまちづくり事業委託（ふれあいいいききサロン） 1,900 千円</p> <p>○主な財源</p> <p>国庫補助金 生活困窮者就労準備支援事業費等補助金 950 千円 繰入金 ふるさと創生基金繰入金 150 千円 繰入金 福祉基金繰入金 800 千円</p>			
地域福祉等推進特別支援事業（ほっとスマイル）		予算現額	500 千円
		決算額	500 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	500 千円
<p>日常生活に支障のある高齢者や障がい者の方が、希望するサービスが公的に提供できない場合に対応するため、ほっとスマイルサービスの運営を支援し利用促進を図りました。</p> <p>・ほっとスマイルサービス利用会員（サービス利用者） 40人（前年度 48人） ・協力会員（サービス提供者） 33人（前年度 32人） ・延利用回数 396回（前年度 355回）</p> <p>○主な経費</p> <p>委託料 ふれあいのまちづくり事業委託（ほっとスマイル） 500 千円</p> <p>○主な財源</p> <p>国庫補助金 生活困窮者就労準備支援事業費等補助金 250 千円 繰入金 ふるさと創生基金繰入金 250 千円</p>			
地域福祉等推進特別支援事業（総合相談）		予算現額	600 千円
		決算額	600 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	600 千円
<p>ふれあい福祉センターの設置（総合相談）及び、地域福祉推進員の配置をしました。</p> <p>・専門相談（法律相談年12回・司法書士相談年6回） ・社会福祉協議会職員による相談 （社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員等）</p>			

地域福祉等推進特別支援事業（総合相談）

相談内容	30年度相談件数	29年度相談件数
暮らし住まい	12	7
家族	7	7
健康・医療	0	1
法律	42	53
福祉・教育	0	0
その他	0	0
計	61	68

○主な経費

委託料 ふれあいのまちづくり事業委託（総合相談） 600 千円

○主な財源

国庫補助金 生活困窮者就労準備支援事業費等補助金 300 千円

繰入金 ふるさと創生基金繰入金 300 千円

地域支え合い体制づくり事業	予算現額	654 千円
	決算額	580 千円
	翌年度繰越額	0 千円

まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	1,181 千円
----------	-----------------------------	----------	----------

災害時に避難支援等が必要な高齢者・障がい者等について作成した避難行動要支援者名簿を機能に加えた要援護者包括支援台帳管理システムを円滑に運用していくため保守を行いました。

○主な経費

電算委託料 要援護者包括支援台帳管理システム保守管理 360 千円

○主な財源

国庫補助金 生活困窮者就労準備支援事業費等補助金 180 千円

事業区分

6 外出支援サービス事業

10,139 千円 事項別明細書 P 88 ~

福祉運送事業	予算現額	10,904 千円
	決算額	10,139 千円
	翌年度繰越額	0 千円

まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	9,600 千円
----------	-----------------------------	----------	----------

○移送サービス送迎業務

概ね65歳以上で、公共交通機関を利用して移動することが困難な高齢者及び身体障がい者を対象に、当該利用者の居宅及び指定場所と医療機関との間の送迎サービスを行いました。

延べ利用者数は742人で、前年度の752人より10人減少しました。

また、地元町内会の要望を踏まえ、かもめバス停留所まで高低差がある美台（鳥羽一丁目）とひだまり間の福祉バス（週1往復）や、夏季に千賀・堅子地区における福祉バスを運行し、移送サービス車を使用して高齢者の外出支援を図りました。

- ・委託事業者 公益社団法人鳥羽市シルバー人材センター
- ・地区別利用者数（延べ）



**福祉運送事業**

鳥羽一丁目～五丁目	82 人	鏡浦地区	9 人
堅神、屋内、池上、小浜	281 人	長岡地区	97 人
安楽島、高丘、大明東町・西町	105 人	離島地区	40 人
加茂地区	128 人	合 計	742 人

・行先別利用者数（延べ）

鳥羽市内	282 人	鳥羽市外（伊勢市・志摩市）	460 人
------	-------	---------------	-------

○高齢者外出支援事業

かもめバスの停留所が離れているなど、高齢者の移動手段の確保が困難な地域において、福祉車両を用いた高齢者の外出支援を行いました。

対象者 白木町・松尾町川合・河内町・若杉町・みどりが丘に居住する65歳以上の高齢者  
又は肢体に障がいのある方

運行日 月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く。）

運行ルート ①白木～松尾～若杉～ひだまり②河内～若杉～みどりが丘～ひだまり 各2往復

利用者数 延べ5,516人（1日平均23人）

・委託事業者 株式会社共立メンテナンス

・ルート別利用者数（延べ）

①白木ルート	2,253 人	②河内ルート	3,263 人
--------	---------	--------	---------

○福祉バス運転業務

公共交通機関がない千賀、堅子地区において、スクールバスを利用した福祉バスを運行し、高齢者等の移動手段を確保し、外出支援を行いました。

運行日 月曜日～金曜日（祝日、年末年始、休校日を除く。）

運行ルート 堅子～千賀～畔蛸～弘道小学校

利用者数 延べ166人（1日平均1人）

・委託事業者 株式会社共立メンテナンス

○主な経費

委託料	移送サービス送迎業務	2,811 千円
	高齢者外出支援事業	3,223 千円
	福祉バス運転業務	1,446 千円

○主な財源

繰入金	ふるさと創生基金繰入金	10,077 千円
-----	-------------	-----------

事業区分

7 行旅等死亡人取扱業務事業

0 千円 事項別明細書 P 88 ~

行旅等死亡人取扱業務事業	予算現額	655 千円
	決算額	0 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額) 409 千円

病気や自殺と推定される原因で死亡し身元が判明しない方に対し、火葬を行うための予算を計上しておりましたが、対象者がなく、予算執行はありませんでした。

虐待等防止ネットワーク事業	予算現額	3,140 千円
	決算額	2,945 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額) 3,092 千円

児童・高齢者・障がい者の虐待やDV等の未然防止のため、鳥羽市虐待防止ネットワーク協議会を組織し、関係機関との連携を図るとともに、講演会や市民啓発、市内巡回などを行いました。デートDV（学生など若者の間で、交際相手から受ける暴力）の防止啓発活動を若年層を対象に行いました。

相談件数 23件 (H29 13件) 年間延べ件数150件 (H29 79件)

	乳幼児	小学生	中学生	高校生	計
件数	8	12	0	3	23

代表者会議 2回開催  
 運営会議 3回開催  
 実務者会議 3回開催  
 ケース会議 6回開催

#### 研修会

##### デートDV啓発講座

- ・鳥羽高校 参加人数 60名
- ・鳥羽商船高等専門学校 参加人数 120名

#### 講演会

- ・演題「我が子の幸せを心から願うお母さんお父さんのためのプチ親セミナー」
- ・講師：羽林 由鶴氏
- ・参加人数 70名

#### 研修会

- ・演題「里親制度と乳児院の現状」
- ・講師 児童養護施設なないろ施設長 岡村 裕氏
- ・参加人数 55名

#### ○主な経費

臨時職員賃金 1名 2,170千円  
 手数料 虐待防止ネットワーク協議会講演会 219千円

#### ○主な財源

国庫補助金 児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金 1,141千円  
 国庫補助金 子ども・子育て支援交付金 157千円  
 県補助金 地域子ども・子育て支援事業費補助金 157千円

女性相談員設置事業	予算現額	1,317 千円
	決算額	796 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額) 936 千円

<b>女性相談員設置事業</b>			
女性相談員を配置し、相談者がひとりで悩みを抱えてしまわないよう、DV支援等に関する相談（電話、面接）や女性保護等に対応することで、不安の軽減を図るとともに、必要に応じて制度の案内や助言等を行うなどの支援を実施しました。			
女性相談員 週2日設置（月・水曜日）			
実相談件数 18件（延相談件数 63件）			
○主な経費			
報酬	女性相談員報酬	669千円	
会費等負担金	三重県婦人相談員連絡協議会会費	5千円	
○主な財源			
国庫補助金	児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金	487千円	
<b>養育支援訪問事業</b>		予算現額	142千円
		決算額	2千円
		翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	2千円
産前、産後でお母さんやお子さんの世話をしてくれる方がいない、子育てに不慣れで不安を持っているなど、いろいろな事情で子育ての負担の大きい家庭に訪問して適切な養育が可能となるよう支援し、個々の抱える養育上の問題の解決や軽減を図りました。			
訪問・相談実件数 2件			
訪問・相談延件数 4回			

事業区分	<b>9 生活困窮者自立支援事業</b>		14,703千円	事項別明細書 P 90 ~
	<b>生活困窮者自立支援事業</b>		予算現額	15,530千円
			決算額	14,703千円
翌年度繰越額			0千円	
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	11,266千円	
生活保護に陥る前の第2のセーフティネットとして、生活に困窮している方の相談を受け、どのような支援が必要かを一緒に考え、具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら自立に向けた支援を行いました。				
また、生活困窮者世帯の子どもを対象に、学習の支援や居場所の提供等を行いました。				
相談受付件数		51件	プラン作成数	18件
学習支援参加者		23名	住居確保給付金	1件
○主な経費				
委託料	鳥羽市生活困窮者自立支援事業	13,335	千円	
	鳥羽市子どもの学習支援事業	1,282	千円	
交付金	住居確保給付金	54	千円	
○主な財源				
国庫負担金	生活困窮者自立相談事業費等負担金	5,795	千円	
国庫補助金	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金	5,076	千円	

事業区分		11 介護保険事業特別会計繰出金		397,403 千円		事項別明細書 P 90 ~	
介護保険事業特別会計繰出金				予算現額	404,121 千円		
				決算額	397,403 千円		
				翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう			(前年度決算額)	396,657 千円		
<p>介護保険法に基づき、特別会計への繰出しを行い、介護保険事業の円滑な運営の推進に努めました。</p> <p>○ 介護保険事業特別会計繰出金 397,403 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護給付費 313,987 千円</li> <li>・ 介護予防・日常生活支援事業費 4,274 千円</li> <li>・ 包括・任意事業（職員3人分） 8,472 千円</li> <li>・ 職員給与費等（職員3人分） 20,141 千円</li> <li>・ 事務費 44,996 千円</li> <li>・ 保険料負担軽減 5,533 千円</li> </ul> <p>○ 主な財源</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国庫負担金 介護保険料軽減負担金 2,766 千円</li> <li>県負担金 介護保険料軽減負担金 1,383 千円</li> </ul>							

事業区分		13 地域共生社会推進事業		5,637 千円		事項別明細書 P 90 ~	
地域共生社会推進事業				予算現額	6,816 千円		
				決算額	5,637 千円		
				翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう			(前年度決算額)	0 千円		
<p>少子高齢化や人口減少などを背景に「地域共生社会の実現」が提唱されており、国の補助事業の「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」を活用し、全庁的に課題解決する体制を構築するため、研修会の開催やネットワークの整理を行いました。</p> <p>○ 主な経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>臨時職員人件費 1 名分 2,019 千円</li> <li>委託料 地域共生推進事業アドバイザー等業務 1,156 千円</li> </ul> <p>○ 主な財源</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国庫補助金 生活困窮者等就労準備支援事業費等補助金 4,687 千円</li> </ul>							

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(目) 3 身体障害者福祉費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
5,648	4,945	98	49		1,632		3,166

身体障害者福祉一般事業	予算現額	951 千円
	決算額	801 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額) 1,414 千円
<p>障がい者や高齢者が、気軽に外出できる環境を維持管理するため、中之郷公衆トイレの定期清掃や浄化槽の保守を行いました。</p> <p>また、トイレの電灯盤の修繕を実施しました。</p> <p>○主な経費</p> <p>修繕料 中之郷公衆便所不点電灯盤修繕工事 48千円</p> <p>委託料 浄化槽保守点検業務 40千円</p> <p>公衆便所清掃業務 468千円</p>		
身体障害者生活環境整備事業	予算現額	200 千円
	決算額	0 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額) 0 千円
<p>在宅の重度障がい者に適するよう住宅改造に要する経費の一部を補助し、居住環境の改善や家族介護者の負担の軽減を図るための事業ですが、30年度は申請がありませんでした。</p>		
障害者給付認定審査会運営事業	予算現額	1,597 千円
	決算額	1,558 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額) 1,518 千円
<p>障害者総合支援法に基づき、市が設置する審査会において、障害支援区分の審査及び判定を行い、適正な障害福祉サービスの提供につなげました。</p> <p>○障害者介護給付費等の支給に関する審査会 (医師2名、保健師1名、社会福祉士2名で構成)</p> <p>・開催回数 12回 ・審査件数 49件</p> <p>○主な経費</p> <p>委員報酬 障害者介護給付費等の支給に関する審査会委員報酬 1,146千円</p> <p>手数料 医師意見書作成料 221千円</p>		

身体障害者社会参加促進事業	予算現額	2,900 千円
	決算額	2,586 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額) 2,582 千円
<p>障がい者の社会参加を促進し、日常生活の充実を図るため、当事者及び団体への助成を行いました。</p>		

## 身体障害者社会参加促進事業

### ○身体障害者自動車ガソリン費補助

外出支援の一環として、障がい者自らが運転する自動車に対して、外出にかかるガソリン費の一部（ガソリン税相当分）を助成しました。

・対象者 64人

### ○各当事者団体に対する補助金交付

市内の当事者団体が行う主催事業等に補助を行うことで、障がい者の社会参加の機会の確保や日常生活の充実、自立支援の促進を図るとともに障がい者同士の交流や、障がい者と健常者の交流の機会の確保が図れました。特に、障害者の日記念事業において実施したデフマジションによるマジックショーには、多くの参加をいただき、交流の機会とともに啓発、理解促進にもつながる事業となりました。

- ・障害者互助会（研修事業・体育祭事業・障害者の日記念事業等）
- ・視覚障害者福祉会（スポーツ大会への参加、無料マッサージ等）

### ○主な経費

補助金	身体障害者自動車ガソリン費補助	1,632千円
	障害者互助会事業補助金	506千円
	視覚障害者福祉会事業補助金	291千円

### ○主な財源

国庫補助金	地域生活支援事業費補助金	98千円
県補助金	三重県地域生活支援事業費補助金	49千円
繰入金	ふるさと創生基金繰入金	1,632千円

## (款) 3 民生費

### (項) 1 社会福祉費

#### (目) 4 老人福祉費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
93,126	81,250	320	496		23,665	9,445	47,324

事業区分

### 1 老人福祉事業

28,253 千円 事項別明細書 P 94 ~

#### 老人福祉一般事業

予算現額	32,682 千円
決算額	28,253 千円
翌年度繰越額	0 千円

まちづくりの目標 4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう

(前年度決算額) 30,244 千円

### ○養護老人ホーム等入所措置

概ね65歳以上の方で、心身上の事情、環境上の事情、経済的な事情などにより、居宅において養護を受けることが困難な方を養護老人ホームに措置し、安定した生活の確保を図りました。

3人が新たに入所、3人が退所し、年度末の措置者数は3施設（花園寮、梨ノ木園、万亀会館）計13人のほか、特別養護老人ホームに1人となっています。

**老人福祉一般事業**

○志摩広域行政組合負担金 (議会総務・養護老人ホーム花園寮)  
鳥羽市・志摩市・南伊勢町で構成する志摩広域行政組合の本部及び養護老人ホーム「花園寮」の運営負担金を支出しました。

○南勢志摩地区福祉有償運送等運営協議会負担金  
南勢志摩地区において福祉有償運送の運営を行う協議会に対して、負担金を支出しました。

○主な経費

一部事務組合負担金	志摩広域行政組合負担金	6,061 千円
扶助費	養護老人ホーム等措置費	22,085 千円

○主な財源

分担金及び負担金	養護老人ホーム措置費負担金	4,729 千円
----------	---------------	----------

事業区分

**2 介護予防・地域支え合い事業**

30,218 千円 事項別明細書 P 94 ~

介護予防・地域支え合い事業 (趣味創作型サービス)	予算現額	5,666 千円
	決算額	4,043 千円
	翌年度繰越額	0 千円

まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	4,673 千円
----------	-----------------------------	----------	----------

介護保険法の円滑な実施の観点から、高齢者ができる限り寝たきりなどの要介護状態に陥ったり、状態がさらに悪化したりすることを予防し、自立した生活を確保するために必要な支援を行うことが重要となります。

このことから、概ね60歳以上の高齢者の方を対象に、第1・2・3土曜日に保健福祉センターひだまりを開放し、生きがいくりと交流の場としてカラオケ・囲碁将棋・華道・茶道などの趣味創作活動を通じて、1日を楽しく過ごすサービスの提供を行いました。

また、自宅での入浴が困難な高齢者の方を対象に、鳥羽一丁目において、入浴等を提供する高齢者寄り合い拠点を運営し、介護予防を図りました。

- ・業務委託先 社会福祉法人鳥羽市社会福祉協議会 (趣味創作型デイサービス事業)  
合同会社felice (高齢者寄り合い拠点運営事業)
- ・延利用者数 1,879人 (趣味創作型デイサービス事業)  
610人 (高齢者寄り合い拠点運営事業)

○主な経費

委託料	趣味創作型デイサービス事業	3,006 千円
	高齢者寄り合い拠点運営事業	1,037 千円

○主な財源

繰入金	ふるさと創生基金繰入金	3,783 千円
諸収入	介護予防・地域支え合い事業利用料	248 千円

介護予防・地域支え合い事業 (配食サービス)	予算現額	7,072 千円
	決算額	6,293 千円
	翌年度繰越額	0 千円

まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	5,914 千円
----------	-----------------------------	----------	----------

**介護予防・地域支え合い事業（配食サービス）**

概ね65歳以上の高齢者世帯及び独居高齢者等で調理することが困難な方や、障がいがあることで調理ができない方に対し、定期的な訪問により栄養の調和のとれた食事の提供による栄養改善と、安否確認を行いました。

- ・業務委託先 社会福祉法人三重福祉会（鳥羽陽光苑）（本土・坂手）  
おかげ屋（菅島）  
海老荘商店（桃取）
- ・利用者数 73人（本土58人、坂手12人、桃取3人） ※平成31年3月現在
- ・延べ配食数 26,647食

○主な経費

委託料 配食サービス 6,293 千円

○主な財源

国庫補助金 生活困窮者就労準備支援事業等補助金 320 千円

繰入金 ふるさと創生基金繰入金 5,167 千円

<b>緊急通報体制整備事業</b>	予算現額	2,497 千円
	決算額	2,141 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額) 2,263 千円

ひとり暮らしの高齢者等で身体に不安のある方に対し、急病や災害等緊急時にいつでも対応できるシステム（緊急通報装置）を設置・貸与し、日々の生活における不安の解消や安全確保に努めました。

- ・委託事業先 株式会社エヌ・ティ・ティ マーケティングアクト
- ・設置者数 81人 ※平成31年3月現在

○主な経費

委託料 緊急通報システム設置サービス事業 2,141 千円

○主な財源

繰入金 ふるさと創生基金繰入金 2,077 千円

<b>家族介護支援事業</b>	予算現額	5,681 千円
	決算額	4,854 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額) 4,813 千円

離島の高齢者が本土にある介護保険事業所のサービスを利用する際に必要な船賃の全額助成、居宅介護支援事業所及び訪問系サービス事業所が離島の高齢者にサービスを行う際の船賃の半額助成、登録車両の駐車場料金の助成を行うことで、本土と離島間に生じる費用等の負担軽減を図り、サービス提供がしやすいよう、支援を行いました。

また、要介護度2以上の高齢者を在宅で介護している家族等の負担軽減につなげるため、家族介護手当の支給を行いました。

- ・船賃助成（個人） 実人員 延べ人員 助成額  
年4回助成 45人 111人 1,003千円
- ・船賃助成（事業者） 助成事業所 助成額  
8事業所 591千円



**家族介護支援事業**

・佐田浜駐車場利用料	使用料	915千円	
・家族介護手当（年2回支給）	実人員	延べ人員	支給額
@2,000円（介護2・3）	69人	107人	1,076千円
@4,000円（介護4・5）	33人	59人	1,212千円

○主な経費

補助金	1,594千円（船賃助成個人分 1,003千円、船賃助成事業者分 591千円）
扶助費	2,288千円（家族介護手当）

**いきいきお出かけ券事業**

予算現額	14,115千円
決算額	12,887千円
翌年度繰越額	0千円

まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	12,707千円
----------	-----------------------------	----------	----------

70歳以上の高齢者への外出支援事業として、「いきいきお出かけ券」を交付し、市営定期船、かもめバス、近鉄電車の利用運賃を助成し、いきいきと外出してもらうきっかけにつなげました。前年度に比べ、交付者が121人増えたものの、交付率にして0.8ポイント減少しました。

・交付状況

	対象者数	交付者数	交付率
本土	3,996人	1,991人	49.8%
離島	1,123人	944人	84.1%
計	5,119人	2,935人	57.3%

・券種別の交付・使用状況

券種	交付者数	使用率	使用金額
かもめバス	1,076人	-	2,668千円
定期船	1,092人	77.5%	4,825千円
近鉄電車	767人	-	3,456千円
計	2,906人	-	10,949千円

○主な経費

扶助費	いきいきお出かけ券	12,012千円
-----	-----------	----------

○主な財源

繰入金	ふるさと創生基金繰入金	12,638千円
-----	-------------	----------

事業区分

**3 地域包括支援センター事業**

6,529千円 事項別明細書 P 94 ~

**地域包括支援センター**

予算現額	8,179千円
決算額	6,529千円
翌年度繰越額	0千円

まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	4,600千円
----------	-----------------------------	----------	---------

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活が営めるよう、要支援認定を受け介護予防給付を希望される高齢者等に対して、ケアプランの作成等を行いました。

○介護予防支援（介護予防ケアプラン）の作成数

・地域包括支援センター作成件数	延927件	（うち、委託事業所作成件数 延829件）
-----------------	-------	----------------------

**地域包括支援センター**

<委託事業所作成件数内訳>

委託先事業所	件数	金額(円)
鳥羽豊和苑居宅介護支援事業所	268	1,182,400
ひまわり居宅介護支援事業所	149	646,700
鳥羽市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所	110	485,000
藤原ケアマネ事務所	96	418,800
ケアプラン 有明の里	82	361,600
はごろも介護支援センター	72	321,600
鳥羽陽光苑在宅介護支援センター	36	157,800
ふたみ指定居宅介護支援センターシルバーケア豊壽園	16	68,800
合計	829	3,642,700

○主な経費

嘱託職員人件費 1名分	2,848千円
委託料 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント作成業務委託	3,643千円

○主な財源

諸収入 予防給付ケアプラン作成収入	4,082千円
-------------------	---------

事業区分

**4 日常生活用具給付事業**

0千円 事項別明細書 P 94 ~

日常生活用具給付事業	予算現額	21千円
	決算額	0千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額) 0千円

要介護高齢者及びひとり暮らし高齢者に対する日常生活の便宜を図るため、電磁調理器等の貸与を行う事業ですが、本年度の新規申請はありませんでした。

事業区分

**5 高齢者福祉対策事業**

5,901千円 事項別明細書 P 94 ~

敬老の日記念事業	予算現額	6,391千円
	決算額	5,764千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額) 5,865千円

敬老会を開催した町内会・自治会に助成を行い、各地域における老人の長寿を祝うための一助としました。また、最高齢者及び100歳以上者(25人)、90歳到達者(106人)には、市長、副市長、当課職員が訪問し、記念品の授与とともに長寿をお祝いしました。

- ・町内会及び自治会 45団体(対象者70歳以上高齢者 4,962人×800円) 3,970千円
- ・最高齢及び100歳以上、100歳及び90歳到達者記念品 1,730千円

○主な経費

報償費	記念品	1,730千円
交付金	敬老の日記念事業交付金	3,970千円

高齢者施策推進委員会等運営事業		予算現額	173 千円
		決算額	137 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	3,254 千円
<p>高齢者施策推進委員会を2回開催し、『高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画』の取組状況等を報告し、委員から幅広い意見を聴き、総合的かつ計画的な施策の推進につなげました。</p> <p>○主な経費 報償費 高齢者施策推進委員会 135 千円</p>			

事業区分	6 老人クラブ活動助成事業		5,162 千円	事項別明細書 P 94 ~															
	老人クラブ運営事業		予算現額	2,820 千円															
			決算額	2,572 千円															
			翌年度繰越額	0 千円															
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	2,568 千円																
<p>市内の単位老人クラブ及び市老人クラブ連合会の活動に対して助成を行い、高齢者の生きがいづくりや健康づくりの推進につなげました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位老人クラブ（団体数 24団体、会員数 2,394人） 助成額 1,772千円</li> <li>・鳥羽市老人クラブ連合会 助成額 801千円</li> </ul> <p>○主な経費 補助金 老人クラブ運営事業補助金 2,572 千円</p> <p>○主な財源 県補助金 高齢者地域福祉推進事業費補助金 496 千円</p>																			
老人憩の家運営事業		予算現額	2,609 千円																
		決算額	2,590 千円																
		翌年度繰越額	0 千円																
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	1,261 千円																
<p>老人憩の家の経年劣化に伴い、施設の修繕を行い、活動拠点としての維持管理に努めました。</p> <p>老人クラブ事業の活動の拠点となる老人憩の家のうち、借家で活動している単位老人クラブへ家賃補助を行い、活動を推進するための一助としました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・床の修繕（堅子・神島老人憩の家）</li> <li>・ブロック塀修繕（菅島・国崎老人憩の家）</li> </ul> <p>○主な経費</p> <table border="0"> <tr> <td>修繕料</td> <td>堅子老人憩の家修繕工事</td> <td>445千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>神島老人憩の家修繕工事</td> <td>488千円</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>国崎老人憩の家ブロック塀改修工事</td> <td>499千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>菅島保育所・菅島老人憩の家ブロック塀改修工事</td> <td>414千円</td> </tr> <tr> <td>補助金</td> <td>老人憩の家運営事業補助金</td> <td>744千円</td> </tr> </table>					修繕料	堅子老人憩の家修繕工事	445千円		神島老人憩の家修繕工事	488千円	工事請負費	国崎老人憩の家ブロック塀改修工事	499千円		菅島保育所・菅島老人憩の家ブロック塀改修工事	414千円	補助金	老人憩の家運営事業補助金	744千円
修繕料	堅子老人憩の家修繕工事	445千円																	
	神島老人憩の家修繕工事	488千円																	
工事請負費	国崎老人憩の家ブロック塀改修工事	499千円																	
	菅島保育所・菅島老人憩の家ブロック塀改修工事	414千円																	
補助金	老人憩の家運営事業補助金	744千円																	

介護予防施設管理運営事業		予算現額	5,220 千円									
		決算額	5,187 千円									
		翌年度繰越額	0 千円									
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	4,846 千円									
<p>神島にある介護予防拠点施設「しおさい」で、趣味創作活動として、裁縫や算数ドリル練習、神島診療所医師の協力で健康体操等を行うことにより、神島に居住する高齢者の介護予防につなげることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延べ利用者数 3,857人</li> <li>・委託事業先 社会福祉法人鳥羽市社会福祉協議会（施設管理） シンフォニアエンジニアリング株式会社（定期点検・水質検査等）</li> </ul> <p>○主な経費</p> <table border="0"> <tr> <td>委託料</td> <td>介護予防施設運営管理業務</td> <td>3,656 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ろ過装置点検・配管洗浄・水質検査業務</td> <td>205 千円</td> </tr> </table> <p>○主な収入</p> <table border="0"> <tr> <td>諸収入</td> <td>介護予防・地域支え合い事業利用料</td> <td>385 千円</td> </tr> </table>				委託料	介護予防施設運営管理業務	3,656 千円		ろ過装置点検・配管洗浄・水質検査業務	205 千円	諸収入	介護予防・地域支え合い事業利用料	385 千円
委託料	介護予防施設運営管理業務	3,656 千円										
	ろ過装置点検・配管洗浄・水質検査業務	205 千円										
諸収入	介護予防・地域支え合い事業利用料	385 千円										

## (款) 3 民生費

## (項) 1 社会福祉費

## (目) 5 障害者福祉費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
3,843	3,101				694		2,407

障害者福祉一般事業		予算現額	1,395 千円
		決算額	1,014 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	1,108 千円
<p>障がい者の社会活動への参加促進を図り、障がい当事者を介護する家族等への経済的支援を行うことで、障がい福祉の増進につなげました。</p> <p>○心身障害者扶養共済制度 介護者、保護者亡き後、障がい者の生活の一助となる心身障害者扶養共済制度の加入者に対して、掛け金の一部助成を行う事業ですが、30年度は助成対象者がいませんでした。</p> <p>○重度心身障害者タクシー料金助成事業 重度心身障がい者がタクシーを利用する際に、その利用チケットを発行し、（基本1人あたり650円×36枚）通院や外出等にかかる経済的な負担軽減、社会活動への参加促進につなげました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者 72人</li> <li>・助成額 694千円</li> </ul>			

<b>障害者福祉一般事業</b>			
○重度心身障害者（児）介護手当 日常生活において、在宅で障がいのある人を介護している家族等（介護者）に対して手当を支給することで、介護者にかかる負担の軽減を図りました。 ・対象者 11人 ・支給額 298千円			
○主な経費			
扶助費	重度心身障害者タクシー料金助成事業	694千円	
	重度心身障害者（児）介護手当	298千円	
○主な財源			
繰入金	ふるさと創生基金繰入金	694千円	
<b>心身障害者小規模作業事業</b>		予算現額	2,448千円
		決算額	2,087千円
		翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	2,292千円
一般就労の機会を得ることが困難な障がい者が、公共交通機関を利用して作業所等へ通う運賃の一部を助成することで、働く場所の確保や自立生活につなげるための支援を行いました。 また、助成対象として新たに生活介護事業を加え、そのサービスを目的として通所する障がい者の社会参加の機会の確保と負担軽減を図りました。			
○小規模作業所等通所者運賃助成 公共交通機関を利用して小規模作業所等へ通所する障がい者に対し、必要運賃相当額の半額を助成することで、経済的な負担軽減につなげ、働く場所の確保と社会的自立を図るための一助としました。 ・対象者 43人 ・支給額 2,087千円			
○主な経費			
補助金	障害福祉サービス通所運賃助成	2,087千円	

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(目) 7 特別障害者手当等給付費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
7,989	7,950	5,872					2,078

事業区分	1 特別障害者手当等給付事業	7,950千円	事項別明細書 P 96 ~
特別障害者手当等給付事業		予算現額	7,989千円
		決算額	7,950千円
		翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	8,502千円

**特別障害者手当等給付事業**

日常生活において、常時特別な介護を必要とする状態にある障がい者（児）に対し、その障がいがある故に発生する負担を軽減するため、手当の支給を行いました。

○特別障害者手当（20歳以上の重度心身障害者）

・対象者 23人 ・助成額 6,972千円（2・3月は26,810円/月、4月～26,940円/月）

○障害児福祉手当（20歳未満の重度心身障害児）

・対象者 6人 ・助成額 967千円（2・3月は14,580円/月、4月～14,650円/月）

○主な経費

扶助費（補助）	特別障害者手当	6,972千円
	障害児福祉手当	967千円

○主な財源

国庫負担金	特別障害者手当等給付費負担金	5,872千円
-------	----------------	---------

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(目) 8 精神障害者福祉費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
51	46						46

事業区分 1 精神障害者福祉事業 46 千円 事項別明細書 P 96 ~

精神障害者福祉一般事業	予算現額	51 千円
	決算額	46 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標 4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	16 千円

精神障がい者の社会復帰の促進及び自立を目的に、それに必要な支援を行いました。

○精神障がい者デイケア参加運賃助成

精神障がい者が、公共交通機関を利用してデイケア（保健福祉センターひだまり）へ参加する際に、それにかかった運賃の一部を助成することで、経済的な負担軽減につなげ、社会的参加を図る一助としました。

・対象者 4人 ・助成額 6千円

また、三家連精神保健福祉大会が志摩市で開催され、その負担金を支出するとともに、大会の運営に参加、協力を行いました。

○主な経費

会費等負担金	三重県精神保健福祉協議会負担金	10千円
	三家連精神保健福祉大会負担金	30千円
補助金	デイケア参加者運賃助成	6千円

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(目) 9 障害者自立支援事業費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
575,890	559,610	276,721	138,184			6	144,699

事業区分		1 障害者自立支援給付事業		526,686 千円 事項別明細書 P 98 ~	
障害者自立支援給付事業		予算現額			537,336 千円
		決算額			526,686 千円
		翌年度繰越額			0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)			511,021 千円
<p>障害者総合支援法に基づき、障がい者（児）が有する能力や適性に応じて、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、サービスの給付及び支援を行いました。</p> <p>給付費は、前年度に比べ16,717千円増加しました。就労継続支援（A型・B型）、自立支援医療は減少となりましたが、居宅介護、短期入所、自立訓練、就労移行支援等の障害福祉サービス費が増加したためです。</p> <p>・サービス給付状況</p>					
区分		実利用者等	給付額	前年度比	増減額
1 障害福祉サービス費等			483,290 千円	1.04	18,400 千円
①居宅介護		22 名	15,270 千円	1.48	4,927 千円
②重度訪問介護		0 名	0 千円	0.00	0 千円
③同行援護		9 名	581 千円	0.94	△ 36 千円
④短期入所		20 名	11,992 千円	1.65	4,729 千円
⑤生活介護		63 名	166,733 千円	1.01	945 千円
⑥療養介護		4 名	9,373 千円	1.41	2,723 千円
⑦施設入所支援		41 名	66,691 千円	1.01	680 千円
⑧共同生活援助		28 名	40,909 千円	1.05	1,778 千円
⑨自立訓練		3 名	5,843 千円	2.36	3,363 千円
⑩就労移行支援		18 名	20,514 千円	1.50	6,876 千円
⑪就労継続支援（A型）		19 名	25,136 千円	0.97	△ 907 千円
⑫就労継続支援（B型）		92 名	108,693 千円	0.93	△ 8,536 千円
⑬特例介護給付費		4 名	4,058 千円	2.39	2,363 千円
⑭特定障害者特別給付費		69 名	7,497 千円	0.94	△ 505 千円
2 相談支援給付費等		165 名	5,332 千円	0.94	△ 358 千円
3 高額障害福祉サービス費等給付費		4 名	451 千円	2.40	263 千円
4 療養介護医療費		4 名	3,333 千円	1.50	1,115 千円
5 補装具費		53 件	3,784 千円	1.29	844 千円
6 自立支援医療費		22 名	7,442 千円	0.69	△ 3,312 千円
7 障害児通所給付費等		34 名	19,590 千円	0.99	△ 168 千円
8 障害児相談支援給付費		33 名	1,245 千円	0.95	△ 67 千円
計		707 名	524,467 千円	1.03	16,717 千円

**障害者自立支援給付事業**

○主な経費

電算委託料	障害者総合支援システム改修（マイナンバー情報連携）	107千円
一部事務組合負担金	志摩広域行政組合負担金	1,299千円
扶助費（補助）		524,467千円

○主な財源

国庫負担金	障害者自立支援給付費国庫負担金	249,300千円
	障害者医療費国庫負担金	6,099千円
	障害児施設措置費国庫負担金	11,500千円
国庫補助金	障害者総合支援事業費補助金	53千円
県負担金	三重県障害者自立支援給付費等負担金	127,550千円
	三重県障害児通所給付費等負担金	5,750千円

事業区分

**2 地域生活支援事業**

32,924 千円 事項別明細書 P 98 ~

<b>地域生活支援事業</b>	予算現額	38,349 千円
	決算額	32,812 千円
	翌年度繰越額	0 千円

まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	32,237 千円
----------	-----------------------------	----------	-----------

障害者総合支援法に基づき、障がい者（児）が自立した日常生活や社会生活を送るための一助とするため、当事者が必要とする福祉サービスの給付及び支援を行いました。

○相談支援事業

当事者や保護者（介護者）が普段から抱えている各種相談に対応するため、相談者が必要とする情報提供や福祉サービスの利用支援等にかかる諸手続き、各関係機関との連絡調整等を行うための専門相談業務を委託し、課題の解決やニーズへの対応に向けた支援を行いました。

- ・委託事業所 社会福祉法人鳥羽市社会福祉協議会
- ・相談件数 1,700件

○日中一時支援事業（いたずらっこ）

障がい児を抱える家族の就労支援及び一時的な休息、当該児童が下校時や長期休暇時に活動する場（ゆめぱーる内）を確保し、その場において集団生活への適応や自活に向けた支援を行いました。

- ・委託事業所 社会福祉法人鳥羽市社会福祉協議会
- ・実利用者数 14人

○視覚障害者（児）生活訓練事業

視覚障がい者（児）の生活自立に必要な訓練（掃除、調理、家電利用方法、屋内外歩行等）について、視覚障害生活リハビリテーション専門員が当事者や家族等からの相談に応じ、訪問形式により継続的に実施しました。

- ・委託事業所 特定非営利活動法人アイパートナー
- ・利用者 10人

○手話通訳者・要約筆記者派遣事業

聴覚障がい者等で意思の疎通が困難な者に対して、手話通訳者・要約筆記者を派遣を行うことにより、当事者の意思疎通の円滑化を図りました。

- ・実利用者数 1人



## 地域生活支援事業

### ○手話奉仕員指導講師養成事業

手話奉仕員を養成する講師を養成するための事業であり、30年度は、市内の障がい当事者と手話通訳者の資格を持った方の2名が指導講師養成研修を受講しました。

(受講者の2名の方には、令和元年度に実施する「手話奉仕員養成事業」において講師をしていただく予定)

### ○日常生活用具給付事業

障がい者(児)が日常生活を送る上で困難なことに對し、それを改善するための日常生活用具(特殊寝台・頭部保護帽・視覚障害者用拡大読書器・おむつ・ストマ等)を給付しました。

・給付件数 443件

### ○訪問入浴事業

訪問により居宅において入浴サービスを提供し、身体障がい者の健康及び衛生の保持を図りました。

・実利用者数 2人

### ○日中一時支援事業

障がい者(児)を抱える家族の就労支援及び一時的な休息、当該児童が下校時や長期休暇時に活動する場を確保し、その場において集団生活への適応や自活に向けた支援を行いました。

・実利用者数 21人

### ○移動支援

屋外での移動が困難な障がい者等について、外出のための支援を行うことにより、地域における自立生活及び社会参加を促しました。

・実利用者数 7人

### ○地域活動支援センター

障がい者の創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進、日中の活動の場を確保するとともに家族等も一時的な休息等の機会を得ることができ、福祉の増進が図れました。

・実利用者数 1人

### ○主な経費

嘱託職員人件費 1名分	2,290千円
委託料 相談支援事業	9,057千円
日中一時支援事業いたずらっこ	9,204千円
視覚障害者(児)生活訓練事業	2,057千円
手話通訳者・要約筆記者派遣事業	60千円
手話奉仕員指導講師養成事業	200千円
一部事務組合負担金 志摩広域行政組合負担金	342千円
負担金及び補助金 福祉ホーム負担金	243千円
扶助費(補助) 日常生活用具給付事業	5,299千円
訪問入浴事業	2,763千円
日中一時支援事業	754千円
移動支援	332千円
扶助費 地域活動支援事業(地域活動支援センター)	92千円

<b>地域生活支援事業</b>				
○主な財源				
国庫補助金	地域生活支援事業補助金	9,769千円		
県補助金	三重県地域生活支援事業補助金	4,884千円		
<b>障害者自立支援協議会等運営事業</b>			予算現額	205千円
			決算額	112千円
			翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	2,977千円	
障がい当事者や事業者等関係者が集まり、障がい者施策や地域の課題について話し合う自立支援協議会の各部会を定期的を開催するとともに、障害者施策推進委員会を2回開催し、各部会の活動報告や障害福祉施策についての話し合いを行いました。				
○主な経費				
報償費	障害者施策推進委員会	104千円		

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

(目) 1 児童福祉総務費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
54,604	51,208	3,172	3,038	0	4,664	477	39,857

事業区分	<b>1 児童福祉給与等管理費</b>		28,747千円	事項別明細書 P 98 ~	
	<b>児童福祉一般職員給与費</b>			予算現額	26,848千円
				決算額	26,542千円
				翌年度繰越額	0千円
	まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	25,033千円	
	次代を担う児童の健全な育成と子育て家庭の支援を行うため、担当する職員の人件費として、4名分を支出し、児童福祉の充実に努めました。				
	○主な経費				
	職員人件費 4名分	26,542千円			
	<b>児童福祉総務一般管理経費</b>			予算現額	2,325千円
				決算額	2,205千円
翌年度繰越額				0千円	
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	812千円		
子どもたち一人ひとりが健やかに成長することができる社会を目指し「第2期鳥羽市子ども・子育て支援事業計画」の策定のための基礎調査をおこないました。					
また、前年度に行った実態調査の結果等を基にして、子どもたちの貧困対策の方向性を定めた「鳥羽市子どもの貧困対策計画」を策定しました。					

**児童福祉総務一般管理経費**

なお、両計画とも鳥羽市子ども・子育て会議にご審議いただきながら取組みを進めました。

- ・鳥羽市子ども・子育て会議の開催：3回（8/1、11/21、2/20）

○主な経費

委員報酬	子ども・子育て会議委員報酬	85千円
通信運搬費		192千円
計画及び策定委託料		1,372千円

○主な財源

国庫補助金	地域子供の未来応援交付金	134千円
-------	--------------	-------

事業区分

**2 子ども相談事業**

3,662千円 事項別明細書 P 100 ~

総合子ども相談事業	予算現額	3,886千円
	決算額	3,662千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額) 3,770千円

0歳から18歳までの子どもの育ちを保障し、子どもの発達を支援するため、保健・福祉・教育の関係機関が連携し、総合的で途切れのない支援に努めました。

平成30年度 総合子ども相談「ほっぷ」年間相談件数

相談種別		子ども相談	電話	面談等	巡回	合計
養護相談	児童虐待相談	0	86	64	0	150
	その他相談	0	1	3	0	4
保健相談		0	0	0	0	0
障害相談	肢体不自由相談	0	0	0	2	2
	視聴覚障害相談	2	0	0	0	2
	言語発達障害等相談	7	10	0	16	33
	重症心身障害相談	0	3	2	2	7
	知的障害相談	17	6	15	43	81
	自閉症等相談	10	18	1	47	76
非行相談	ぐ犯行為等相談	0	0	0	0	0
	触法行為相談	0	0	0	0	0
育成相談	性格行動相談	58	43	40	204	345
	不登校相談	0	4	60	0	64
	適性相談	0	0	0	0	0
	育児・しつけ相談	0	0	1	0	1
その他相談		2	1	0	0	3
延件数		96	172	186	314	768

○療育の実施状況

- ・対象児童数：71名
- ・療育（巡回時に実施）延べ回数：120回（出前型120件・通所型0回）

<b>総合子ども相談事業</b>		
○主な経費		
嘱託職員人件費	1名	2,705千円
報償費（児童心理士等）		821千円
会費等負担金	研修参加費（大阪医科大学LDセンター）	3千円
	三重県家庭相談員連絡協議会	5千円

事業区分	<b>3 児童健全育成事業</b>		6,956千円	事項別明細書 P 100～
	<b>放課後児童健全育成事業</b>			予算現額 7,013千円
			決算額 6,956千円	
			翌年度繰越額 0千円	
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	6,959千円	
<p>子どもたちが放課後等に安全で健やかに活動できる場所の確保を図るとともに、児童福祉の増進に寄与することを目的に、鳥羽放課後児童クラブ運営委員会（たんぽぽ）及びエンゼル・クラブに児童クラブの運営管理を委託し、効果的に事業を実施しました。</p> <p>両クラブとも学校敷地内に所在しており放課後子ども教室との連携による運営をおこなっています。エンゼル・クラブについては、放課後子ども教室終了後も通所支援を行うことで、希望する子どもたち全てが子ども教室に参加できる機会を提供しています。なお、月平均利用児童については、前年度と比べ増加しています。</p>				
		たんぽぽ	エンゼル・クラブ	
開設日数		288日（290日）	286日（288日）	
定員		40人（40人）	40人（40人）	
平均利用児童数		41人（36人）	45人（40人）	
※（）内は平成29年度実績数値				
○主な経費				
委託料	放課後児童クラブ管理運営業務委託	2施設	6,163千円	
	エンゼル・クラブ通所支援業務委託		431千円	
	（加茂小学校～エンゼル・クラブ）			
○主な財源				
国庫補助金	子ども・子育て支援交付金		2,064千円	
県補助金	地域子ども・子育て支援事業費補助金		2,064千円	

事業区分	<b>4 子育て支援センター事業</b>		3,522千円	事項別明細書 P 100～
	<b>子育て支援センター事業</b>			予算現額 4,806千円
			決算額 3,522千円	
			翌年度繰越額 0千円	
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	5,000千円	
<p>利用者支援事業で助産師を週3日配置したことにより、産前から乳幼児までの幅広い相談を受け、育児不安のある保護者へ細やかな支援を行いました。</p>				

## 子育て支援センター事業

また、子育て支援サポーターの充実により、幅広い講座の提供、地域の子育てサロン等へも同様のサービスが実施できました。

- あそびの広場「だっこ」
  - ・開設日：月～金の5日間
  - ・開設日数：241日
  - ・利用者数：延4,551人
- 講座等
  - ・助産師相談（月、水、金の週3回）
  - ・赤ちゃん広場（3回連続講座）9月、10月、11月
- 子育て支援サポーター事業
  - ・足育教室（毎月1回）
  - ・ばあばのおはなし会（毎月1回）
  - ・英語であそぼう（年2回）
  - ・親子ヨガ（6月21日）
  - ・ハンドメイドソープ（8月8日）
  - ・なかよしコンサート（8月19日）
  - ・芋ほり遠足（11月6日）
  - ・チャレンジハンドクリーム（12月21日）

○にこにこ広場、サロン・サークル支援の実施。

- ・実施回数（合計35回）
  - 答志にこにこ広場 13回      神島にこにこ広場 6回
  - 菅島サロン 6回      相差サロン 7回      0,1,2,3サークル 3回
- ・子育て支援の講演会や講座を実施（4地域で実施）
  - 答志 2月21日      神島 10月23日
  - 菅島 10月11日      相差 2月5日

○相談対応件数

- ・受付件数（合計372件）
  - だっこ・出張ひろば等：181件
  - 利用者支援事業：191件

○主な経費

臨時職員人件費	1名	1,567千円
報償費	利用者支援事業（助産師・講師等）	1,315千円
備品購入費	（カシオトーン、白板、デジカメ等）	111千円

事業区分

## 5 子育て支援事業

8,321千円 事項別明細書 P 102 ~

<b>とばっ子カード事業</b>	予算現額	545千円
	決算額	366千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額) 627千円

18歳以下の子どもがいる世帯を対象に「とばっ子カード」を発行し、協賛店舗の協力を得て地域ぐるみでの子育て世帯の支援を行いました。

平成30年度から三重県で行う子育て応援パスポートと連携して事業を実施しており、とばっ子カードの提示により市外でもサービスが受けられるようになりました。

○平成30年度末現在

- ・登録世帯数：1,306世帯      （平成29年度末 1,266世帯）
- ・協賛店舗数：76件      （平成29年度末 77件）

<b>とばっ子カード事業</b>			
○主な経費			
消耗品費	子育て応援キャラクター啓発用品作製	200千円	
○主な財源			
繰入金	ふるさと創生基金繰入金	366千円	
<b>病児・病後児保育</b>		予算現額	319千円
		決算額	316千円
		翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	356千円
<p>保護者がやむを得ない理由で在宅での看護や保育ができない場合や、子どもが急な病気や回復期で保育所等の通所ができない時に、安心して利用できる保育環境を提供することで保護者の子育てと就労の支援を行います。</p> <p>「志摩こどもの城クリニック」に志摩市と共同委託を行いました。</p> <p>○年間延べ利用者数：5人</p> <p>○主な経費</p> <p>会費等負担金 病児・病後児保育事業負担金 316千円</p>			
<b>ファミリーサポートセンター事業</b>		予算現額	1,256千円
		決算額	944千円
		翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	780千円
<p>育児と仕事や社会活動等を両立して、子育てしやすい環境をつくるため「子育ての手助けをしてほしい人（依頼会員）」と「子育ての手助けをしたい人（提供会員）」をコーディネートし、住民相互で有償により送迎等の援助活動を行うファミリーサポートセンターを運営しました。</p> <p>あおぞら保育所2階の子育て支援センター内で専属のアドバイザーを配置して事業を実施しており、一人ひとりのニーズに細やかに対応できるように努めました。</p> <p>○ファミリーサポート会員数（平成30年度末）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提供会員：72名</li> <li>・依頼会員：7名</li> <li>・両方会員：7名</li> </ul> <p>・活動延べ件数：194件</p> <p>○主な経費</p> <p>報償費 アドバイザー 670千円</p> <p>養成講座講師 52千円</p> <p>○主な財源</p> <p>国庫補助金 子ども・子育て支援交付金 418千円</p> <p>県補助金 地域子ども・子育て支援事業費補助金 418千円</p>			
<b>子育て情報発信事業</b>		予算現額	178千円
		決算額	177千円
		翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	402千円

<b>子育て情報発信事業</b>		
<p>保育所から、必要な案内や緊急情報等を一斉のメール配信により速やかに提供することで、保護者の不安の軽減を図りました。</p> <p>○主な経費 一斉メール配信サービス（とぼっ子メール） 177千円</p>		
<b>一時保育事業</b>	予算現額	2,839千円
	決算額	2,242千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額) 526千円
<p>保護者が就労や入院等の理由により一時的に家庭で保育することが困難な場合や里帰り出産、親のリフレッシュ等に児童を一時的に預かり保育を行う支援を実施しました。低年齢利用に配慮した備品を購入し、安全な保育環境を整えました。</p> <p>○利用延べ回数 213回</p> <p>○主な経費  嘱託職員人件費 1名 2,083千円  消耗品費 50千円  備品購入費 仕切り板（鏡付き） 48千円</p> <p>○主な財源  国庫補助金 子ども・子育て支援交付金 508千円  県補助金 地域子ども・子育て支援事業費補助金 508千円  負担金 一時保育保育料 467千円</p>		
<b>子育て短期支援（ショートステイ）事業</b>	予算現額	145千円
	決算額	0千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額) 0千円
<p>保護者の疾病その他の理由により家庭で養育を受けることが一時的に困難となった児童を市と契約した児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う体制を整えましたが、利用者はありませんでした。</p> <p>○委託先  ・社会福祉法人 明照浄済会（児童養護施設 いせ子どもの家）  ・社会福祉法人 天理（児童養護施設天理教 三重互助園）</p>		
<b>子育て応援事業</b>	予算現額	4,063千円
	決算額	3,904千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額) 3,769千円

## 子育て応援事業

新たに子どもが生まれたり、1歳未満の子どものいる転入世帯に子育て用品等の購入費用の補助となるととばっ子子育て応援券を交付したほか、6歳未満の子どもの対象に、チャイルドシート等の購入費を助成する、チャイルドシート等購入費助成券を申請に応じて発行し、市内で安心して子育てができる環境づくりと、子育て世帯の経済的負担の軽減を図りました。

【とばっ子子育て応援券：1,000円券×30枚綴（30,000円分）】

- ・取扱い店舗数：7店舗
- ・対象商品：紙オムツ、粉ミルク、離乳食、衛生用品等
- ・利用枚数 3,135枚（H29 3,037枚）

【とばっ子子育て応援券（チャイルドシート等購入費助成券）：10,000円券×1枚】

- ・取扱い店舗数：8店舗
- ・対象商品：ベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシート
- ・利用枚数 67枚（H29 64枚）

○主な経費

扶助費 とばっ子子育て応援券 3,805千円

○主な財源

繰入金 ふるさと創生基金繰入金 3,904千円

とばっ子ハッピーセミナー事業	予算現額	381千円
	決算額	372千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額) 395千円

父親の育児参加を推進することを目的としハピサタ講座と銘打って、土曜日に参加型の講座を5回実施しました。母親の育児負担軽減やリフレッシュを目的とした講座に加え、育児に関する講座や親子のコミュニケーションを深める講座を実施しました。

○主な開催講座

(単位：人)

講座名	開催日	参加人数	
		大人	子ども
手づくり講座 せっけんデコパージュ	5月23日	11	13
ハピサタ講座 ふれあい遊び	6月23日	45	52
第1回バイバイおむつ講座	6月26日	9	
ハピサタ講座 しゃぼん玉で遊ぼう！	7月14日	48	59
人形劇団ししかばぶ	8月21日	12	113
ハピサタ講座 えいごで遊ぼう！	8月25日	11	15
ハピサタ講座 リズムで遊ぼう！	9月8日	13	17
えいごで遊ぼう！ハロウィンパーティー	10月31日	18	23
ハピサタ講座 親子つながりあそび	11月17日	40	43
みんなでクッキング	12月2日	9	19
ハッピークリスマスコンサート	12月19日	22	25
第2回バイバイおむつ講座	1月23日	6	
親子ヨガ講座	2月18日	10	10
他8講座		85	34
合計		339	423



<b>とばっ子ハッピーセミナー事業</b>		
○主な経費		
報償費	ハッピーセミナー事業講師報償費	229千円
	託児報償費	43千円
○主な財源		
繰入金	ふるさと創生基金繰入金	372千円

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

(目) 2 児童措置費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
292,078	288,476	174,356	34,482	0	0	0	79,638

事業区分	<b>1 母子生活支援事業</b>		645 千円	事項別明細書 P 102 ~
	<b>母子生活支援・助産施設入所措置事業</b>		予算現額	1,300 千円
			決算額	645 千円
			翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	0 千円
<p>18歳未満の子どもを養育している母子家庭、または何らかの事情で離婚の届け出ができていないが母子家庭に準ずる母親と児童を母子生活支援施設に入所させることで、母親の生活の自立を促したり、子どもの健全育成のための相談支援の体制を整えました。</p> <p>母子生活支援施設入所措置（1件）と助産施設への入所（1件）を行いました。</p>				
○主な経費				
	扶助費（補助）	母子生活支援・助産施設措置費	645千円	
○主な経費				
	国庫負担金	母子生活支援施設入所措置費負担金	486千円	
	県負担金	母子生活支援施設入所措置費負担金	243千円	

事業区分	<b>2 児童扶養手当事業</b>		67,326 千円	事項別明細書 P 102 ~
	<b>児童扶養手当事業</b>		予算現額	67,903 千円
			決算額	67,326 千円
			翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	69,010 千円
<p>父母の離婚等により、父又は母と生計を同じくしていない児童を育成している家庭（ひとり親家庭）等に児童扶養手当を支給し、生活の自立と安定、児童の福祉の増進を図りました。</p>				
○受給対象延べ人数 1,703人				

**児童扶養手当事業**

○主な経費

扶助費（補助） 児童扶養手当 67,326千円

○主な財源

国庫負担金 児童扶養手当負担金 22,493千円

事業区分

**3 児童手当事業**

220,505 千円 事項別明細書 P 102 ~

<b>児童手当事業</b>	予算現額	222,875 千円
	決算額	220,505 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額) 231,780 千円

次代の社会を担う児童の家庭における生活の安定、また健全な育成と資質の向上に寄与するため  
中学校修了前の児童を養育している人に手当を支給しました。

児童の年齢	児童手当の額（1人当たり月額）
3歳未満	15,000円
小学校修了前（第1・2子以降）	10,000円
小学校修了前（第3子以降）	15,000円
中学校修了前	10,000円

※所得制限者については一律月額5,000円を支給

区 分	延支給者数	支給額（千円）
3歳未満被用者	2,081	31,215
3歳未満非被用者	1,092	16,380
被用者小学校修了前	7,478	80,525
非被用者小学校修了前	3,902	42,780
被用者中学校修了前	2,884	28,840
非被用者中学校修了前	1,767	17,670
被用者特例給付	349	1,745
非被用者特例給付	270	1,350
計	19,823	220,505

○主な経費

扶助費（補助） 児童手当 220,505千円

○主な財源

国庫負担金 児童手当支給費負担金 151,377千円

県負担金 児童手当支給費負担金 34,239千円

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

(目) 3 児童福祉施設費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
595,740	573,088	2,761	3,828	68,000	39,709	74,691	384,099

事業区分 1 保育所運営給与等管理費 502,747 千円 事項別明細書 P 102 ~

保育所運営事業	予算現額	515,750 千円
	決算額	502,747 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額) 516,301 千円

保護者の労働又は疾病等の事由により、保育の必要性がある児童を保護者に代わって保育することで、児童の心身の健全な発育を図りました。

長時間保育や休日保育、食物アレルギーへの対応など多様な保育ニーズに応えることで保護者が安心して就労できる環境を提供し、子育て家庭の支援に努めました。

平成31年3月末時点

保育所数	定員	児童数							職員数			
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	保育士	看護師	調理員	計
9	600	23	60	87	81	98	86	435	76	2	15	93

※代替、緊急対応、休日対応職員を含む

【保護者のニーズに応じた特別保育事業を各保育所で実施】

○障がい児保育事業：かがみうら・安楽島・あおぞら・船津・相差保育所

・対象児童：21名 (H29 24名)

○長時間保育事業：かがみうら・安楽島・あおぞら・船津・相差保育所

・利用児童数

8：00～8：30 延19,440名 (H29 延17,951名)

16：30～18：00 延20,271名 (H29 延18,558名)

○延長保育事業：あおぞら保育所

・利用児童数

7：30～8：00 延2,168名 (H29 延1,596名)

18：00～19：00 延1,586名 (H29 延1,288名)

○休日保育事業：あおぞら保育所で実施

・開所日数：70日 (H29 67日)

・利用児童数：延252名 (H29 延236名)

○乳児保育事業：安楽島・あおぞら・船津保育所で実施

・0歳児(6ヶ月以上児)：23名 (H29 24名)

○食物アレルギー対応：全保育所

調理員の対応として、アレルギーの程度に応じて、除去する食品が主材料となる場合は別の食品を用いて代替食を調理したり、該当食品を除去したりするなどする。

保育士の対応として、喫食時に誤食のないよう、隣に座るなど目の届くように座席を配置したり、他児童と食器の色を変えたりする。

・対象児童：26名 (H29 28名)

保育所運営事業

【保育料2人目以降無料化の対象となった児童の保育料相当額】

項目	H30	H29
対象児童実人数	91人	101人
保育料相当額	10,720,060円	11,594,000円

○主な経費

職員人件費	57名分（保育士49名 調理員8名） ※子育て支援室・子育て支援センター職員4名分含む	324,088千円
臨時・嘱託職員	52名分（保育士43名 看護師2名 調理員7名） ※代替・緊急対応・休日対応職員を含む	112,892千円
報酬	保育所嘱託医報酬	2,410千円
委託料	桃取保育所給食調理業務委託	1,866千円
	菅島保育所給食調理業務委託	1,796千円
	神島保育所給食調理業務委託	1,784千円
	屋外遊具点検業務	194千円
備品購入費	保育所備品	1,486千円
会費等負担金	日本スポーツ振興センター 研修参加	163千円 32千円
	県社会福祉協議会	108千円
	防火管理者講習参加	38千円
負担金及び補助金	施設型給付費負担金	291千円
	日本スポーツ振興センター災害給付金	50千円

○主な財源

負担金	保育所保育料	65,238千円
	保育所特別保育保育料	807千円
	保育所広域入所負担金	116千円
雑入	保育所職員給食費	7,807千円
	太陽光発電余剰電力売電代	234千円
国庫補助金	子ども・子育て支援交付金	2,650千円
	子どものための教育・保育給付費負担金	111千円
県補助金	地域子ども・子育て支援事業費補助金	2,650千円
	施設型給付費・地域型保育給付費県費負担金	55千円
繰入金	ふるさと創生基金繰入金（ふるさと納税分）	39,709千円

事業区分

2 移住・定住促進事業

44千円 事項別明細書 P 104 ~

シングルペアレント移住・就業支援事業	予算現額	44千円
	決算額	44千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額) 44千円

<b>シングルペアレント移住・就業支援事業</b>		
<p>県内外でイメージが確立されている「子育て応援のまち鳥羽」を前面に出した移住促進の取組として、保育士資格を持つ子育て中のシングルペアレントを募集しました。</p> <p>地域をあげて移住者の受入れを積極的に進めている答志島への移住につながるよう、前年度に引き続き、答志保育所での採用を目指し周知を図りましたが、問い合わせはあったものの、応募には至りませんでした。</p> <p>○主な経費</p> <p>普通旅費      J O I N移住・交流&amp;地域おこしフェア      44千円</p>		

事業区分	<b>3 保育所施設整備事業</b>		70,297 千円 事項別明細書 P 104 ~	
	<b>保育所施設整備事業</b>		予算現額	79,946 千円
			決算額	70,297 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	0 千円	
<p>昭和46年から神島の子どもたちの成長を見守ってきた神島保育所は、老朽化が著しいことに加え耐震基準を満たしていなかったことから、隣接する既存施設（旧職員住宅）を保育所としてリノベーションし、安心・安全な保育環境を整備しました。</p> <p>○主な経費</p> <p>設計測量等業務委託料      4,061 千円</p> <p>工事請負費      63,974 千円</p> <p>備品購入費      2,192 千円</p> <p>○主な財源</p> <p>県補助金      みえ森と緑の県民税市町交付金      1,123 千円</p> <p>市債      保育所施設整備事業債（辺地対策事業）      68,000 千円</p>				

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

(目) 4 母子福祉費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
7,152	5,593	1,011	4,101	0	0	0	481

事業区分	<b>1 母子福祉事業</b>		5,593 千円 事項別明細書 P 104 ~	
	<b>母子寡婦福祉事業</b>		予算現額	7,152 千円
			決算額	5,593 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	6,952 千円	
<p>ひとり親家庭等の自立と福祉の向上を目指す鳥羽市母子寡婦福祉会に対し、補助金を支出し会の活性化を支援しました。</p> <p>また、鳥羽の子どもたちが家庭の事情により将来が左右されることが無いよう、ひとり親家庭を対象に子どもの生活・学習支援事業を行いました。</p>				

<b>母子寡婦福祉事業</b>		
○主な経費		
委託料	子どもの生活・学習支援事業	5,468 千円
補助金	市母子寡婦福祉事業補助金	120 千円
○主な財源		
県支出金	学習支援ボランティア事業費補助金	4,101 千円

(款) 3 民生費

(項) 3 生活保護費

(目) 1 生活保護総務費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					一般財源
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	
33,306	32,682	3,268				6	29,408

事業区分	1 生活保護給与等管理費	32,682 千円	事項別明細書	P 106 ~
生活保護一般職員給与費		予算現額	22,455 千円	
		決算額	22,298 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	21,581 千円	
生活に困窮している方の最後のセーフティネットである生活保護に関する業務にあたるため、職員人件費3名分を支出し、相談業務及び生活支援等に努めました。				
○主な経費				
	職員人件費3名分	22,298	千円	
生活保護事務事業費		予算現額	8,292 千円	
		決算額	7,832 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	11,773 千円	
職員研修や医療扶助の診療報酬明細書を委託し、生活保護業務の適正化を推進しました。				
また、生活保護システム・レセプト管理システムにおいて、クラウド方式のシステムを使用し強固なセキュリティを確保し、生活保護事務を行いました。				
○主な経費				
	報酬	嘱託医報酬	660	千円
	電算委託料	生活保護システム改修業務委託	2,488	千円
	委託料	生活保護法による医療扶助の診療報酬明細書点検業務	146	千円
	使用料	生活保護システム賃貸借	3,227	千円
		生活保護レセプト管理システム賃貸借	518	千円
○主な財源				
	国庫補助金	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金	1,358	千円
就労支援事業		予算現額	2,559 千円	
		決算額	2,552 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	2,505 千円	

<b>就労支援事業</b>			
就労支援員を雇用し、就労意欲や稼働能力を有する生活保護受給者に対して就労指導・助言・協力を行い、就労による生活改善、自立に向けた相談や支援を実施しました。			
就労支援員を週5日設置	支援対象者	6人	うち就労開始 5人 うち自立 5人
○主な経費			
嘱託職員人件費1名分		2,466	千円
○主な財源			
国庫負担金	生活困窮者自立相談事業費等負担金	1,910	千円

(款) 3 民生費

(項) 3 生活保護費

(目) 2 扶助費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
181,300	159,644	135,974	7,168			460	16,042

事業区分	1 生活扶助事業		159,644 千円 事項別明細書 P 106 ~			
	生活扶助事業		予算現額	181,300 千円		
			決算額	159,644 千円		
			翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	162,060 千円			
<p>生活に困窮する方に対し、その困窮程度に応じた必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともにその自立を助長しました。</p> <p>年度末現在の保護受給率は5.2%（前年度4.7%）で、増加傾向にあり、扶助別の保護延べ人員も3,168人（前年度3,029人）に増加しました。保護開始数は14件（前年度11件）、保護廃止は8件（前年度16件）でした。</p> <p>保護費支出額は159,644千円（前年度162,060千円）と減少しましたが、これは生活扶助、介護扶助、施設事務費の減少が要因です。（平成31年3月末現在）</p>						
区 分		平成30年度		平成29年度		
		延べ人員(人)	支出額(千円)	延べ人員(人)	支出額(千円)	
生活扶助		958	41,751	965	43,565	
住宅扶助		801	17,446	756	15,786	
教育扶助		36	533	40	367	
介護扶助		362	7,529	373	9,482	
医療扶助		994	87,912	890	84,914	
出産扶助		0	0	0	0	
生業扶助		17	369	3	166	
葬祭扶助		0	0	2	325	
就労自立給付金		0	0	0	0	
施設事務費		—	4,104	—	7,455	
計		3,168	159,644	3,029	162,060	

<b>生活扶助事業</b>			
保護世帯数	85世帯	(前年度	78世帯)
保護受給者数	96人	(前年度	90人)
保護受給率	5.2%	(前年度	4.7%)
○主な財源			
国庫負担金	生活保護費負担金	135,974	千円
県負担金	生活保護法第73条負担金	7,168	千円
雑入	生活保護法返還金	460	千円

(款) 3 民生費

(項) 4 災害救助費

(目) 1 災害救助費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
7,790	0						0

事業区分	1 災害見舞弔慰金支給事業	0 千円	事項別明細書	P 108 ~
市災害見舞弔慰金支給事業		予算現額	7,790 千円	
		決算額	0 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	4-2【福祉】 みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	80 千円	
<p>災害見舞弔慰金として予算を計上しておりましたが、対象者が無く、予算執行はありませんでした。</p>				

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(目) 1 保健衛生総務費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
62,089	61,364	244	244			31	60,845

事業区分	1 保健給与等管理費	61,364 千円	事項別明細書	P 110 ~
保健衛生総務一般職員給与費（健康福祉課）		予算現額	57,038 千円	
		決算額	56,447 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	4-1【保健医療】 みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	55,032 千円	
<p>保健事業及び診療所運営事務のため、職員人件費9名分を支出し業務の推進に努めました。 また、管理栄養士は、介護予防（栄養）教室や自立支援型地域支援会議などの介護予防事業、保育所給食の献立作成等の栄養管理や衛生管理、アレルギー対応等の保育所給食業務も担当して実施しました。</p>				



保健衛生総務一般職員給与費（健康福祉課）		
○主な経費		
職員人件費 9名分		56,447千円
○主な財源		
国庫補助金 子ども・子育て支援交付金		244千円
県補助金 地域子ども・子育て支援事業費補助金		244千円
保健衛生一般管理経費（健康福祉課）	予算現額	5,051千円
	決算額	4,917千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	4-1【保健医療】 みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額) 4,889千円
<p>嘱託職員（管理栄養士）1名と臨時職員1名を雇用し、業務の推進を図りました。</p> <p>○主な経費</p> <p>臨時・嘱託職員人件費 2名分 4,917千円</p>		

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(目) 2 予防費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
102,697	96,501	423	1,204		3,253	1,791	89,830

事業区分	1 保健事業		39,883千円	事項別明細書 P 112 ~
	健康づくり支援事業	予算現額	1,437千円	
		決算額	1,216千円	
		翌年度繰越額	0千円	
	まちづくりの目標	4-1【保健医療】 みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	983千円
	<p>保健師・管理栄養士等による生活習慣病の予防、健康づくりのための運動や栄養等の健康教室を保健福祉センターひだまりや参加者の利便を図るため地域で開催し、市民の健康の保持・増進につなげました。</p> <p>・主な健康教室実績 (単位：人)</p>			
	教室名		開催回数	延べ参加者数
	ストレッチ教室		100	2,908
	ストレッチ教室（答志・桃取・相差・国崎・本浦・菅島）		57	556
	リフレッシュ体操		23	341
夜間リフレッシュ運動教室		10	201	
リズムストレッチ教室		23	775	
歯の健康教室		1	13	
健康づくりのための食講座		7	71	
健康づくりのための食講座（菅島・河内・船津・本浦・白木 さくらが丘・松尾・ハイタウン鳥羽）		8	102	
女性のいきいき教室（船津・みどりが丘）		2	16	
高齢者教室（堅子・答志・桃取他）		7	203	

**健康づくり支援事業**

○主な経費

報償費 各種教室講師代 350千円

各団体に補助金を交付し、食生活を通じた市民の健康増進事業や、原爆被災者の相談事業等を推進する活動の支援を行いました。

○主な経費

補助金（市食生活改善推進連絡協議会） 48千円

補助金（県原爆被災者の会志摩支部） 24千円

健康診査・がん検診事業	予算現額	38,527千円
	決算額	38,523千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標 4-1【保健医療】 みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	38,052千円

疾病の早期発見・早期治療を図るため、健康増進法に基づき、がん検診等を実施しました。子宮頸がん検診について、医療機関での個別検診の受診者が前年度より増加しています。

・がん検診実績 (単位：人)

検診名	実施機関	実施期間	受診者数		
			H29	H30	比較増減
乳がん検診	三重県健康管理事業センター	6月～2月	897	875	△ 22
	医療機関(伊勢市・志摩市)	7月～3月	84	94	10
子宮頸がん検診	三重県健康管理事業センター	6月～2月	646	634	△ 12
	医療機関(伊勢市・志摩市)	7月～3月	245	281	36
胃バリウム検診	三重県健康管理事業センター	6月	34	33	△ 1
肺がん検診	三重県健康管理事業センター	7月	919	838	△ 81
胃カメラ検診	市立診療所	7月～11月	102	87	△ 15
	市内開業医		1,236	1,260	24
前立腺がん検診	市立診療所	7月～11月	190	186	△ 4
	市内開業医		733	733	0
大腸がん検診	市立診療所	7月～11月	374	336	△ 38
	市内開業医		1,806	1,746	△ 60
肝炎ウイルス検査	市立診療所	7月～11月	0	2	2
	市内開業医		6	7	1

○主な経費

委託料（がん検診等検診業務） 37,691千円

○主な財源

県補助金 健康増進事業補助金 516千円

繰入金 ふるさと創生基金繰入金 1,344千円

特定年齢に達した女性に対して、子宮頸がん・乳がん検診無料クーポン券と検診手帳を送付、がんの早期発見と正しい健康知識の普及及び啓発を図りました。

**健康診査・がん検診事業**

・新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業実績 (単位：人)

検診名	対象者数	受診者数	受診率 (%)	検診機関別受診者数内訳	
				検診バス	医療機関
子宮頸がん検診 (20歳)	73	8	11.0	0	8
乳がん検診 (40歳)	72	13	18.1	4	9

※受診者数は、上記がん検診実績に含まれています。

○主な経費

委託料 (がん検診等検診業務) 121千円

○主な財源

国庫補助金 感染症予防事業費等補助金 40千円  
繰入金 ふるさと創生基金繰入金 81千円

40歳に達した方を対象に大腸がん検診の受診券を送付、自己負担を無料にすることで受診勧奨を図りました。

検診名	対象者数	受診者数	受診率 (%)
大腸がん検診	173	14	8.1

※受診者数は、上記がん検診実績に含まれています。

○主な経費

委託料 (がん検診等検診業務) 25千円

○主な財源

繰入金 ふるさと創生基金繰入金 25千円

がん検診の結果、がんが発見された方の数は下記のとおりです。がん以外にも、胃カメラ検診では胃炎、ポリープ、大腸がん検診ではポリープや良性腫瘍などが発見され、早期治療等に役立てることができました。

・がん検診受診結果

検診区分	受診者数	がん発見者数	その他疾患発見者数
乳がん検診	969	2	11
子宮頸がん検診	915	0	0
胃がん検診	1,380	5	106
肺がん検診	838	0	19
大腸がん検診	2,082	11	102
前立腺がん検診	919	3	9

献血推進事業	予算現額	115千円
	決算額	81千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	4-1【保健医療】 みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額) 57千円

**献血推進事業**

市内企業・団体等に協力をお願いし、献血巡回バスによる献血活動を実施しました。また、7月にショッピングプラザハローにおいて夏季キャンペーン実施により献血活動の啓発を行いました。

・献血実績

日数	会場数 (件数)	献血者数 (人) 400ml
7	13	241

※献血受付者数276人のうち、35名が不採血者

成分献血には、延べ45名の市職員が協力し、献血事業の推進に貢献することができました。

・市職員成分献血実績

実施月	献血者数 (人)
5月	12
9月	18
1月～2月	15

献血事業の啓発活動のため、鳥羽市献血推進協議会に対し補助金を交付しました。

○主な経費

補助金 (市献血推進協議会) 30千円

<b>ウォーキングサポート事業</b>	予算現額	166 千円
	決算額	63 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標 4-1【保健医療】 みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	83 千円

地域の方に協力をいただきウォーキングマップを市内4地域(千賀、堅子、坂手、今浦、鳥羽地区)で作成しました。また、毎月1回市民の森公園、中央公園でウォーキングを実施するなど市民の健康づくりのためのウォーキングに関する支援を行いました。

・ウォーキング参加者数

ウォーキング開催場所	参加者数
ウォーキングマップ作成場所	103
毎月ウォーキング (中央公園、市民の森公園 10回)	194
夜間ウォーキング (ひだまり周辺 5回)	22
前年度ウォーキングマップ作成場所等 (7回)	160

○主な経費

需用費 啓発物品等 61千円

○主な財源

繰入金 ふるさと創生基金繰入金 63千円

事業区分

**2 母子保健事業**

14,052 千円 事項別明細書 P 112 ~

<b>母子保健事業</b>	予算現額	17,077 千円
	決算額	14,052 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標 1-2【結婚・子育て】 家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	15,468 千円

## 母子保健事業

母子保健法に基づく乳児や妊婦の健康診査を医療機関に委託、また1歳6か月児や3歳児等の幼児の健康診査を実施し母子の健康の保持増進等に役立てることができました。

離乳食教室等の各種教室、健康相談や家庭訪問の実施により育児不安の軽減、乳幼児の健全な発育を支援しました。

・各種健診・相談内訳 (単位：人)

健診区分	回数	対象者数	受診者数
3歳児健康診査	6	102	98
2歳児歯科検診	6	109	101
1歳6か月児健康診査	5	94	93
2歳児・3歳児フッ素塗布	6	208	179
7か月児健康相談	12	94	82
乳幼児・1歳児健康相談	12	—	203

・委託健診内訳 (単位：人)

健診区分	延べ受診者数
妊婦健康診査	1,049
4・10か月児健康診査	180
3歳児精密健康診査	5

○主な経費

委託料（母子健診） 9,532千円

・主な教室等 (単位：人)

教室名	回数	延べ参加者数	内容
保育所歯科教室	20	636	虫歯予防の話や歯磨き指導を実施しました。
前期離乳食教室	6	35	離乳食の調理実習や講義、相談等を実施しました。
後期離乳食教室	6	36	離乳食の講義、試食、相談を実施しました。
幼児食はじまり講座	3	13	幼児食について講義、試食、相談を実施しました。
1歳6か月児健診等 事後フォロー教室	11	25	発達の気になる児や育児不安のある保護者を対象に、遊びの指導や相談を実施しました。
プレパパママ教室	3	12	妊娠中の生活や栄養、育児知識についての、講義や実技を実施しました。
子育て応援講座	8	66	
家庭訪問		99件	生後4か月までの児のいる家庭を訪問し、身体計測や育児相談等を実施しました。

少子化対策の一環として、不妊治療費の一部を助成することで、経済的な負担の軽減ができました。不育症治療費については申請がありませんでした。

・不妊治療費助成事業等

助成区分	申請者数 (人)	助成者数 (人)	助成額 (千円)	助成基準
人工授精	1	1	30	1年度にかかった治療費の3分の2を助成します。(上限3万円)
特定不妊治療 (体外受精・顕微授精)	7	7	700	1回の治療につき、上限10万円を助成します。

## 母子保健事業

○主な経費	補助金（不妊治療費助成事業）	730千円
○主な財源		
県補助金	特定不妊治療費、一般不妊治療費及び不育症治療費等補助金	60千円
繰入金	ふるさと創生基金繰入金	670千円

### ・妊婦健診助成事業

里帰り出産等で県外の医療機関等で妊婦健康診査を受診した場合、妊婦健診受診票未使用分の回数（県内医療機関等の契約金額を上限）に限り費用を助成しました。

助成件数	10件	
○主な経費	補助金（妊婦健診助成事業）	258千円

### ・妊婦健診交通費助成事業

妊婦健康診査(14回)の通院にかかる交通費(本市から伊勢地区まで)を助成し、妊婦の経済的負担の軽減を図り、健やかな妊娠・出産が迎えられるよう支援しました。

助成件数	152件	
○主な経費	扶助費（妊婦健診交通費助成）	931千円
○主な財源	繰入金      ふるさと創生基金繰入金	848千円

### ・未熟児養育医療の給付

出生時の体重が2,000g以下または身体の発育が未熟なまま出生し、医師が入院治療を必要と認めた未熟児に対して、入院医療にかかる費用の一部を給付しました。

助成件数	3件	
○主な経費	扶助費（母子養育医療診療報酬）	645千円
○主な財源	国庫負担金    未熟児養育医療費等負担金	268千円
	県負担金      養育医療給付事業等負担金	134千円

### ・新生児聴覚スクリーニング検査費助成事業

新生児聴覚スクリーニング検査の費用を一部助成することで子育てにかかる費用の負担軽減を図りました。

助成件数	74件	
○主な経費	扶助費（新生児聴覚スクリーニング検査費助成）	222千円
○主な財源	繰入金      ふるさと創生基金繰入金	222千円

### ・産後ケア事業

出産後、家族等から家事や育児の支援がなく、育児不安が強く育児支援を必要とする者を対象に医療機関等に宿泊、通所、訪問により保健指導等を行うことで、母親の身体的回復や心理的な安定を促進し健やかな育児ができるよう支援しました。

利用者	訪問	1件
○主な経費	委託料	11千円

予防接種事業	予算現額	43,633 千円
	決算額	41,244 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額) 42,186 千円

乳幼児や高齢者に対し、様々な感染症や疾病を予防するために、予防接種法に基づく各種予防接種を実施しました。子宮頸がんワクチンについて、接種者はありませんでした。

・定期予防接種

接種区分	対象者 (人) ※3	接種者 (人)	接種率 (%)	対象年齢
四種混合 ※1	405	399	98.5	生後3か月～90か月未満
水痘	308	194	63.0	1歳～3歳未満
MR(風しん麻しん混合)	194	191	98.5	1歳～2歳未満、5歳以上～7歳未満
日本脳炎	680	509	74.9	生後6か月～90か月未満、9歳～13歳未満の者等
BCG	109	92	84.4	生後直後～1歳未満
ヒブ	538	383	71.2	生後2か月～5歳未満
小児肺炎球菌	539	383	71.1	生後2か月～5歳未満
B型肝炎	394	322	81.7	生後1歳未満
二種混合(DT) ※2	146	129	88.4	11歳～13歳未満
インフルエンザ	6,918	3,736	54.0	65歳以上の者等
高齢者肺炎球菌	1,440	564	39.2	65歳以上の者等

※1 四種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオ)

※2 二種混合(ジフテリア・破傷風)

※3 接種時期等により、接種状況が変動するため、対象者は概算となっています。

○主な経費

委託料(予防接種) 40,551千円

定期予防接種による健康被害救済制度の対象者に、医療費と医療手当を支給しました。

○主な経費

負担金(予防接種健康被害救済給付金) 418千円

○主な財源

県負担金 予防接種事故救済給付費負担金 313千円

健康に関する啓発事業	予算現額	1,742 千円
	決算額	1,322 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額) 730 千円

10月21日に開催された「ひだまりフェスタ」において、「健康まつり」を保健福祉センターひだまり2階を会場に実施し、健康機器による各種健康チェック、健康相談等を行うことで、健康に関する意識の啓発を図りました。また、三重県市町保健師協議会に対し、負担金を支出しました。

**健康に関する啓発事業**

来場者数 1,914人（うち健康まつり参加者数延1,906人）

○主な内容

超音波骨密度測定、3分間体力測定、片足立ち測定、足型測定、クイックアーム、健康歩道  
血管年齢測定、ザ・ボディコンディショナー、体組成測定、歯科・整形外科医健康相談等

○主な経費

委託料（ひだまりフェスタ健康機器測定業務） 476千円  
負担金（縣市町保健師協議会） 44千円

自殺対策の目標、施策などを示した「いのち支える鳥羽市自殺対策計画」を策定しました。

○主な経費

報償費 策定委員会委員報償 86千円  
印刷製本費 計画・概要版印刷 185千円

○主な財源

県補助金 地域自殺対策強化事業補助金 181千円

平成31年度に第3次健康増進計画を策定するためのアンケートを実施しました。

○主な経費

通信運搬費 298千円

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(目) 5 休日診療所費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
22,923	22,494			6,000	1,409	7,608	7,477

事業区分

1 休日・夜間応急診療所運営管理経費

22,494千円 事項別明細書 P 116 ~

鳥羽市休日・夜間応急診療所		予算現額	22,923千円
		決算額	22,494千円
		翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	21,685千円

市内外の医師や看護師などの協力のもと、日曜日・祝日・年末年始及び毎週木曜日から土曜日の夜間に鳥羽市休日・夜間応急診療所を開設し、市民が安心できる医療体制の充実を図りました。  
休日応急診療所の利用者数は、前年度比36人減、夜間応急診療所の利用者数は前年度比15人減となりました。

	診療体制 (人)				開設日数 (日)	患者数 (人)	1日あたり患者数 (人)
	医師	薬剤師	看護師	事務員			
休日	1	1	1	1 (※)	73	672	9
夜間	1	1	1	1 (※)	148	225	2
計					221	897	

(※) 5月ゴールデンウィーク、年末年始等の繁忙期は事務員2名体制で対応



## 鳥羽市休日・夜間応急診療所

○休日応急診療所（日曜日、祝日、年末年始の日中）

・診療科別受診状況（単位：人）

年度	内科	小児科	その他	計
H29	510	137	61	708
H30	472	156	44	672

・地域別診療状況（単位：人）

年度	鳥羽	伊勢	志摩	県内（その他）	県外	計
H29	551	33	20	24	80	708
H30	531	24	20	18	79	672

○夜間応急診療所（木・金・土曜日の夜間）

・診療科別受診状況（単位：人）

年度	内科	小児科	その他	計
H29	136	98	6	240
H30	126	88	11	225

・地域別診療状況（単位：人）

年度	鳥羽	伊勢	志摩	県内（その他）	県外	計
H29	126	6	70	7	31	240
H30	119	3	55	8	40	225

○二次救急医療機関への紹介状況（単位：人）

医療機関別	伊勢赤十字病院	市立伊勢総合病院	県立志摩病院	計
患者数（H29）	41	2	4	47
患者数（H30）	33	9	5	47

・主な診断結果（単位：件）

項目	年度			
	H29	H30		
診断結果 (順位別)	1. 感冒	230	1. 感冒	179
	2. インフルエンザ	131	2. インフルエンザ	137
	3. 急性胃腸炎	43	3. 急性気管支炎	64

○主な経費

委員報酬	休日・夜間診療所運営協議会委員報酬	18 千円
報償費	休日・夜間診療所医師等報償費	19,424 千円
需用費	医薬材料費	1,601 千円
備品購入費	超音波式ネプライザ	92 千円

鳥羽市休日・夜間応急診療所		
○主な財源		
繰入金	ふるさと創生基金繰入金	1,409千円
地方債	過疎地域自立促進特別事業債	6,000千円

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(目) 6 へき地診療所費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
298,205	265,454		7,183	7,100	0	150,794	100,377

事業 区分	1 医療給与等管理費		265,454千円 事項別明細書 P 118 ~		
	へき地診療所運営事業			予算現額	294,090千円
				決算額	261,526千円
				翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標		4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	270,964千円	
<p>南鳥羽・離島などの唯一の医療機関として、地域の医療を支える市立診療所の役割を果たすため施設や医療設備の充実を図り、地域住民の健康を守るために必要な医療サービスを提供しました。</p> <p>また、菅島診療所の処置室・事務室・待合室を仕切るパーテーションが老朽化したことから、安全な素材のものに取り換えると同時に、診察室の窓に飛散防止フィルムを貼るなど安全に配慮した改修を行いました。</p>					
○主な経費					
職員人件費	9名・県派遣職員	2名		90,864千円	
嘱託・臨時職員人件費	3名分			8,284千円	
需用費	医薬材料費			67,016千円	
委託料	長岡診療所指定管理料			13,100千円	
	長岡診療所徴収事務委託料			65千円	
	産業廃棄物処理業務委託料			139千円	
	臨床検査業務委託料			3,776千円	
	特定検診代行入力業務委託料			415千円	
工事請負費	パーテーション等改修工事	(菅島診療所)		2,070千円	
備品購入費	超音波画像診断装置	(神島・菅島診療所)		9,288千円	
	心電図検査装置	(長岡診療所)		1,080千円	
	小型卓上遠心機	(神島診療所)		238千円	
会費等負担金	学会等参加負担金			99千円	
	志摩医師会諸会費			404千円	
負担金及び補助金	県派遣職員負担金	2名分(桃取・神島診療所)		31,246千円	
	代診医師派遣負担金			440千円	

へき地診療所運営事業

○主な財源

県補助金	へき地診療所設備整備費補助金(長岡・神島・菅島診療所)	5,184千円
	医療施設運営費補助金(神島診療所)	1,999千円
諸収入	長寿社会づくりソフト事業費交付金	248千円
地方債	過疎対策事業債 心電図検査装置(長岡診療所)	500千円
	辺地対策事業債 超音波画像診断装置(神島・菅島診療所)	4,600千円
	辺地対策事業債 パーテーション等改修工事(菅島診療所)	2,000千円

・診療所別運営状況

(単位：人)

診療所別		長岡 (指定管理)	鏡浦 (今浦・石鏡分室)	神島	桃取	菅島	坂手	合計
診療 体制	医師	1	三重大医学部より 日替わり派遣(4)	1 県	1 県	1 市	1 市	常勤5
	看護師	2	1	1	2	1	2	9
	看護師(嘱託)	-	1	-	-	-	-	1
	事務員	1	-	-	-	-	-	1
	事務員(臨時)	1(非常勤)	-	1	-	1	-	3
	合計	5	常勤2	3	3	3	3	19

※長岡診療所はすべて指定管理者の職員、神島・桃取診療所医師は県派遣医師

(単位：千円)

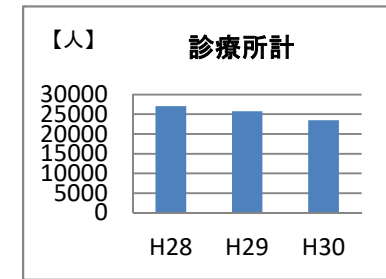
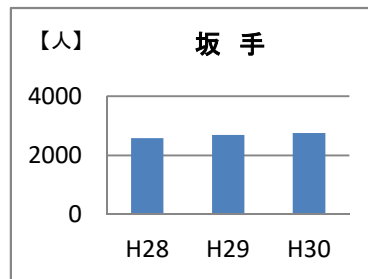
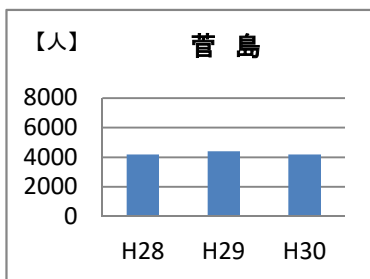
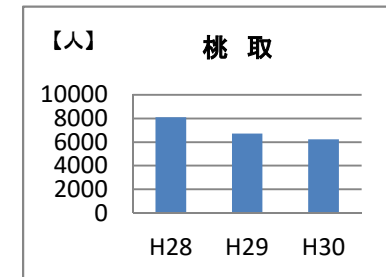
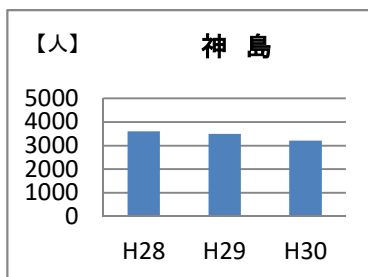
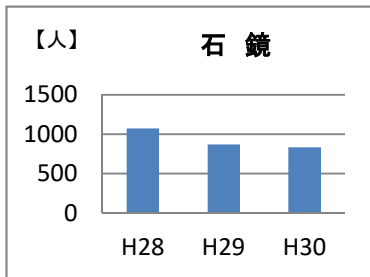
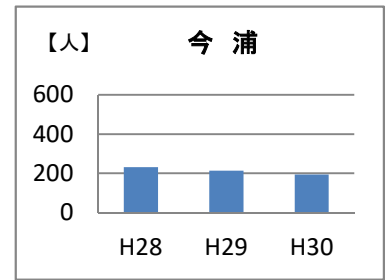
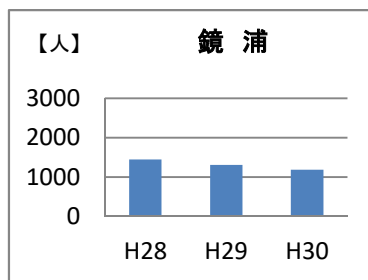
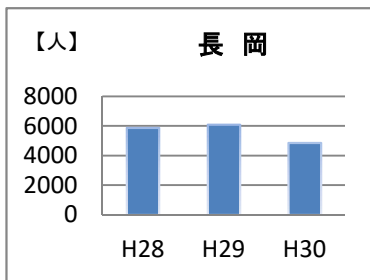
診療所別		鏡浦 石鏡・今浦	神島	桃取	菅島	坂手	計
収入 の部	診療報酬	23,359	26,024	48,308	33,791	18,229	149,711
	文書料	133	130	307	117	63	750
	雇用保険 補助金等	9	4,385	82	2,436	0	6,912
	計	23,501	30,539	48,697	36,344	18,292	157,373
支出 の部	人件費、賃 金、報償等	26,381	30,194	28,658	27,804	33,209	146,246
	医薬材料費	13,449	11,624	18,594	16,476	6,590	66,733
	備品購入費	26	4,666	209	4,880	25	9,806
	その他の経費	5,413	3,646	7,169	5,299	2,675	24,202
	計	45,269	50,130	54,630	54,459	42,499	246,987
差引収支差額		△ 21,768	△ 19,591	△ 5,933	△ 18,115	△ 24,207	△ 89,614
前年度実績		△ 20,348	△ 15,627	△ 4,372	△ 11,542	△ 23,959	△ 75,848
比較増減		△ 1,420	△ 3,964	△ 1,561	△ 6,573	△ 248	△ 13,766

へき地診療所運営事業

・診療所別患者数推移

(単位：人)

診療所 年度	長岡	鏡浦	今浦	石鏡	神島	桃取	菅島	坂手	合計
H28	5,864	1,451	232	1,074	3,606	8,089	4,180	2,578	27,074
H29	6,099	1,310	214	869	3,500	6,717	4,396	2,690	25,795
H30	4,866	1,185	195	834	3,207	6,238	4,195	2,754	23,474
前年度対比	△ 1,233	△ 125	△ 19	△ 35	△ 293	△ 479	△ 201	64	△ 2,321



・1日あたり患者数 (延べ患者数) / (診療日数)

(単位：人)

診療所 年度	長岡	鏡浦	今浦	石鏡	神島	桃取	菅島	坂手	平均値
H29	26	9	4	6	19	29	19	14	17
H30	20	9	4	6	16	27	18	14	14
比較増減	△ 6	0	0	0	△ 3	△ 2	△ 1	0	△ 3

\*鏡浦診療所は、午後のみ開診。石鏡分室は午前のみ開診。今浦診療所は、水曜日のみ開診。

へき地診療所運営事業

・診療所別主な診断結果

診療所 診断結果	長岡	鏡浦 今浦・石鏡	神島
診断結果 (順位別)	1. 高血圧症 2. 腰痛症 3. 便秘症	1. 高血圧症 2. 腰痛症 3. 骨粗鬆症	1. 高血圧症 2. 脂質異常症 3. 腰痛症
	桃取	菅島	坂手
	1. 高血圧症 2. 高脂血症 3. 変形性膝関節症	1. 高血圧症 2. 高脂血症 3. 腰痛症	1. 高血圧症 2. 変形性膝関節症 3. 変形性腰椎症

・診療所別ドクターヘリ要請件数

(単位：件)

診療所 項目	長岡	鏡浦	桃取	神島	菅島	坂手	合計
要請件数	0	0	0	1	0	0	1

\*当該件数は、診療所より直接消防本部へ要請した件数です。

一次及び二次医療対策事業

	予算現額	4,115 千円
	決算額	3,928 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額) 4,017 千円

救急を含む医療体制全般を整備するため、各関係機関への事業負担及び助成等を行いました。また、生活習慣病等の健康知識や情報を市民に普及啓発する活動等を推進するため、志摩医師会及び鳥羽志摩歯科医師会に補助金を交付し、活動を支援しました。

○主な経費

会費等負担金	一次救急医療体制事業負担金	663 千円
	三重県救急医療情報システム事業市町負担金	240 千円
負担金及び補助金	地域医療福祉事業補助金 (志摩医師会・歯科医師会)	3,025 千円

(款) 4 衛生費

(項) 3 水道費

(目) 1 水道費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
45,172	45,171						45,171

繰出金		予算現額	45,172 千円
		決算額	45,171 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう	(前年度決算額)	43,756 千円
<p>地方公営企業の現況により、水道事業特別会計に繰り出しを行いました。</p> <p>水道企業会計繰出金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神島簡水債利子償還補助金 148 千円</li> <li>・ 答志島簡水債利子償還補助金 2,746 千円</li> <li>・ 菅島簡水債利子償還補助金 520 千円</li> <li>・ 高料金対策補助金 5,876 千円</li> <li>・ 児童手当補助金 362 千円</li> <li>・ 神島簡水債元金償還補助金 2,304 千円</li> <li>・ 答志島簡水債元金償還補助金 24,463 千円</li> <li>・ 菅島簡水債元金償還補助金 8,752 千円</li> </ul> <hr/> <p style="text-align: right;">45,171 千円</p>			